はじめに、必ず お読みください

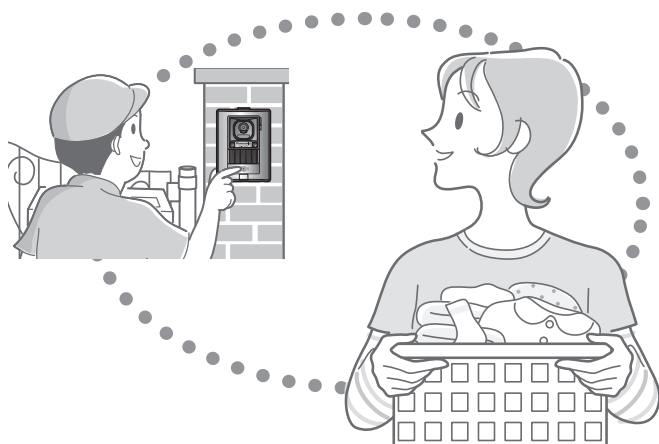
ドアホン親機編

Panasonic

取扱説明書

ワイヤレスモニター付テレビドアホン

品番 VL-SWN352KL（ブイエル エスダブリューエヌ ケイエル） 電源コード式

確認と準備
来客応答/モニター
録画／再生
室内通話
便利なサービス
お好み設定
別売機器との連携
必要なとき
困ったとき

VL-V521L

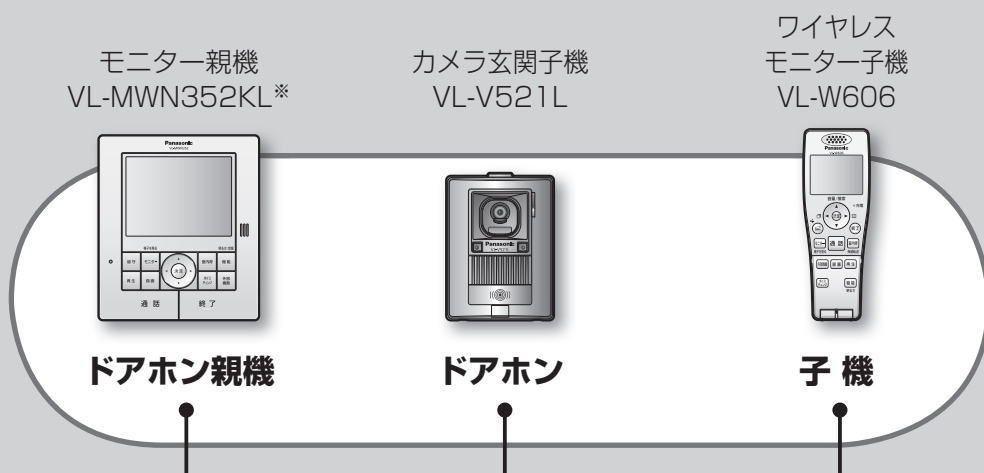
VL-MWN352KL

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

工事説明書 別添付

保証書 別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（10、11ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

※ドアホン親機の表面には「VL-MWN352」と表示されています。

● 説明書は各機器ごとに分かれていますので、ご使用になる機器の説明書をお読みください。
（☞ 9ページ）

お問い合わせの多い機能を探しやすくしました

（詳しいもくじは6ページへ）

別売品

84ページ 増設できる
子機・増設モニター・玄関子機は？（別売品一覧）

●子機は、付属と合わせて**6**台まで。
●増設モニターは、**1**台のみ。
} 併用時は合わせて**6**台まで。

●玄関子機（ドアホン）は、付属と合わせて**3**台まで。

76 **子機を増やすには？**（ドアホン親機への登録）

使いかた

26 留守中に **来客の映像や用件を記録したい！**（留守設定）

30 **録画した画像を見るには？**（画像再生）

33 **子機と話すには？**（室内通話）

●別売の子機を増設すると、子機間通話もできます。（☞「子機編」31ページ）

よくあるご質問

付属の子機は、**電話の子機として使えるの？**

■子機を別売の電話/ファクスに登録（増設）すれば使えます。
増設できる電話/ファクスや増設のしかたは（☞「子機編」18～21ページ）

カメラなし（音声のみ）**の玄関子機は接続できる？**

■接続できる機種もあります。（☞ 84ページ）

電話/ファクスを接続して**ドアホンと通話したい！**

■ワイヤレスアダプター機能対応の電話/ファクスのみ接続できます。
接続にはワイヤレスアダプターの設定が必要です。

• 接続できる機種や設定は（☞ 55～57ページ）

こんなことができます

子機（ドアホン/電話両用）

別売の電話/ファクスに増設すれば、
ドアホンの子機としてだけでなく、
電話の子機としても使えます。

● 付属と合わせて **6台まで増やせます。**
（増設モニター接続時は**5台**まで）
品番：VL-W606（付属と同仕様）
VL-W610（ドアホン専用/音声タイプ）

ドアホン親機

画面が大きく、離れた位置でも来客の
映像を確認できます。
また、在宅中や留守中に録画もできます。

ドアホン（LEDライト付き）

夜など暗いときも来客をカラーで映します。

● 付属と合わせて **3台まで増やせます。**
品番：VL-V521L-S（付属と同仕様）
VL-V564-K※1、VL-V565-K※1
VL-V552-S※1、VL-V500-K※2
※1はLEDライトが付いていません。
※2は音声専用で、カメラもLEDライトも付いていません。

増設モニター（VL-V650K）を接続して使う

ドアホン親機に接続（配線工事が必要）・登録することで、子機の1つとして利用できます。登録のしかたは☞ 77ページ

● 接続は **1台のみ。**

こんな機器にもつながります（品番など詳しくは☞ 84ページ）

■ 火災警報器、外部センサー、地震警報器

火災警報器などのセンサーが反応すると、ドアホン親機や子機にも警報音や画面表示でお知らせします。

● 接続は、いずれか **1種類のみ。**

■ 電気錠やエアコン

ドアホン親機や子機で、電気錠やエアコンなどの操作ができます。

● 接続は **2台まで。**

インターネットに接続して

「みえますねっとLite」サービス(有料)**を使う**

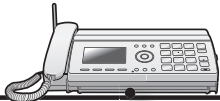
来客時に自動録画され、専用のサーバーに転送されたドアホン画像(静止画)を、携帯電話から見ることができるサービスです。

詳しくは☞ 34ページ

テレビ(ビエラ)**やレコーダー**(ディーガ)**をつなぐ**

ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画できます。

● テレビは **2**台まで。
● レコーダーは **1**台のみ。

対応機種など詳しくは☞ 69ページ

カメラ(センサーカメラ)**をつなぐ**

ドアホン親機や子機で、カメラの映像を見たり、録画ができます。

● **4**台まで。

対応機種など詳しくは☞ 60ページ

ワイヤレスアダプター機能で **電話/ファクスを接続して使う**

電話/ファクスで、ドアホンとの通話ができます。

● 接続は **1**台のみ。
● **電話/ファクスで対応できるドアホンは2台までです。3台目のドアホンを増設した場合、電話/ファクスでは3台目のドアホンとの通話はできません。**

対応機種など詳しくは☞ 55ページ

■ **光るチャイム、メロディサインなど**

来客時に音や光でお知らせします。
別売のカメラ接続時には、カメラのセンサー反応時も連動します。

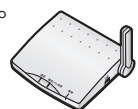
● 接続は、いずれか **1**台のみ。

■ **中継アンテナ**

子機の設置場所が離れていたり、障害物などで電波が届きにくいときに設置すると、電波状態を改善できます。

● **2**台まで。

もくじ

確認と準備

● 付属品・添付品を確認する……8
● 説明書の構成と読みかた……9

安全上のご注意……10
● 使用上のお願い……12

各部のなまえとはたらき……16

準備
● 日付・時刻の設定……19

来客応答／モニター

ドアホンを使う
● 呼び出しに応答する……20
● 通話中・モニター中の機能……21
- 画面の明るさを変える……21
- 受話音の大きさを変える……21
- ドアホンの逆光補正をON/OFFする……21
- ドアホンのLEDライトを点灯/消灯する……21
- 録画・録音する……21
- 自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）……21
- 送話と受話を切り替えて話す（プレストーク通話）……21

● 通話を転送する……22
● ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）……23

録画／再生

録画・録音機能について……24
- 在宅時の自動録画について……24

● 在宅時に手動で録画・録音する……25

留守設定して録画・録音する……26
- 自分の声で応答メッセージを作る……28

● 録画・録音がいっぱいになったとき……29
- 画像の自動更新について……29

画像を再生する……30
● 再生画面の見かたと再生中の機能……31
● 画像を保護または消去する……32

室内通話

子機と話す
（ドアホン室内通話）……33

便利なサービス

「みえますねっとLite」サービスを利用する……34
- 「みえますねっとLite」サービスとは……34
- ドアホン親機をサービスに申し込む（登録）……35
- ドアホンの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について……36
- 別売のカメラをサービスに申し込む（登録）……38
- 別売のカメラの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について……39

お好み設定

音の設定

● 呼出音の大きさを変える（呼出音量）……41
● 呼出音を変える……42
● 着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）……43

機能設定一覧表……44

別売機器との連携

さらに便利に…

● こんな機器の増設・連携ができます（システム構成図）……50
● 火災警報器などを接続して使う……52
● 光るチャイムやメロディサインなどを接続して使う……53
● 電気錠やエアコンなどを接続して使う……54
● 電話/ファクスを接続して使う……55
● カメラ・テレビ・レコーダーを接続するとき……59

カメラを使う……60

● カメラを利用するまでの流れ……60
● ドアホン親機にカメラを登録する……61
● カメラの映像を見る……62
● カメラ映像の録画について……64
● カメラの機能を変える（機能設定一覧表）……66

別売機器との連携

テレビやレコーダーを使う……69

● テレビやレコーダーを利用するまでの流れ……69
● ドアホン親機をテレビに登録する……70
● 「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見るには……71
● ドアホン親機をレコーダーに登録する……72
● テレビやレコーダーで動作を確認する……73
● 登録したテレビやレコーダーの情報を見る……74
● 登録したテレビやレコーダーを削除する……75

子機を増やす（増設）……76

増設モニターを接続して使う（増設）……77

● 中継アンテナを設置する（増設）……78
● 子機・増設モニター・カメラ・中継アンテナを使わなくなったとき（減設）……80

必要なとき

● 通話中・モニター中に別の呼び出しがあったとき……81
● 情報表示画面について……82
● お手入れ……83
● 仕様……83
● 別売品・推奨品一覧……84
● ライセンスについて……85

困ったとき

困ったとき……89

こんな表示が出たら……99

● 保証とアフターサービス……102
● Quick Reference Guide……104
● さくいん……106

付属品・添付品を確認する

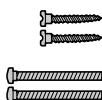
不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付 属 品

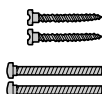
ドアホン親機用

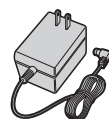
ドアホン親機の背面にあります。

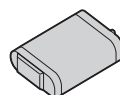
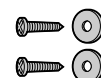
☐ 壁掛け金具................1個

☐ 壁掛け用木ねじ・小ねじ
................................各2個

ドアホン用

ドアホンの包装袋に添付しています。

☐ 壁掛け用木ねじ・小ねじ
................................各2個

子 機 用

☐ ACアダプター
（長さ約1.8 m）
..........................1個

☐ 充電台
..........................1台

☐ 電池パック※1
..........................1個

☐ 充電台壁掛け用
木ねじ・ワッシャー
......................各2個

※1 お買い上げ時は、子機裏面に取り付けられている電池カバーを外してから、電池パックを入れてください。
（☞「子機編」16ページ）

添 付 品

取扱説明書

☑ ドアホン親機編（本書）................1冊

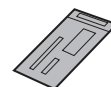
☐ 子機編 1冊

☐ 工事説明書................................1部

☐ 簡単ガイド................................1部

☐ みえますねっとLiteガイド....1部

☐ QRコードシール※2..................1枚
（ドアホン親機の表面にはり付け）

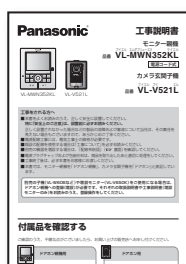
☐ 保証書 1式

※2「みえますねっとLite」サービス（有料）の登録時に使用します。（☞ 35ページ）
ドアホン親機からはがして、取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

説明書の構成と読みかた

下記のように分かれていますので、それぞれの記載内容をご確認のうえ、用途にあった説明書をお読みください。

◆取扱説明書

ドアホン親機編（本書）	子機編
機器ごとに分かれています。各機器で必要な準備や使える機能などが異なりますので、ご使用になる機器の説明書をお読みください。	

◆工事説明書（工事をする方がお読みください）

●ドアホンとドアホン親機の設置工事のしかたを記載しています。

◆みえますねっとLiteガイド

●「みえますねっとLite」サービス（有料）の概要と登録のしかたについて記載しています。
サービスをご利用の際は、本書の34～40ページと合わせてよくお読みください。

◆簡単ガイド

●本機の基本的な使いかたを記載しています。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

●修理は販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

●金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

●使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる　など）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

警告

■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■ケーブルを引っ張ったり、ぶらさがったり、コネクター部に無理な力を加えない

禁止

機器の破損、または落下によるけがの原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■雷が鳴ったらドアホン親機・電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

■不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

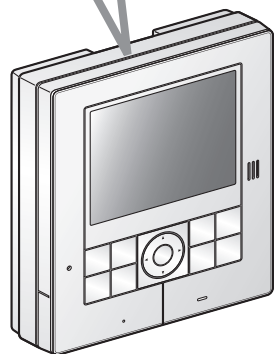
使用上のお願い

こんなところには設置しない

- **火気・熱器具の近く**
  （変形や故障の原因）
- **テレビ・電子レンジ・パソコンの近く**
  （電波干渉による誤動作の原因）
- **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**
  （40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- **温度変化が激しいところ**
  （結露による誤動作の原因）

ドアホンやドアホン親機の設置場所は、工事説明書をよくお読みください

お願い

- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、しばらく放置してから接続、使用してください。

ドアホン親機

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1間の通信には電波を使うため、各機器の距離や設置場所にご注意ください

- 各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約100 m以内の距離で使えます。
- **距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。**

• 金属製のドアや雨戸	• 壁を何枚もへだてたところ
• アルミはく入りの断熱材が入った壁	• 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
• コンクリートやトタン製の壁	

このような場合、子機とドアホン親機（または電話/ファクス親機）の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。（☞ 78、84ページ）
ただし、**ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**※2

中継アンテナ

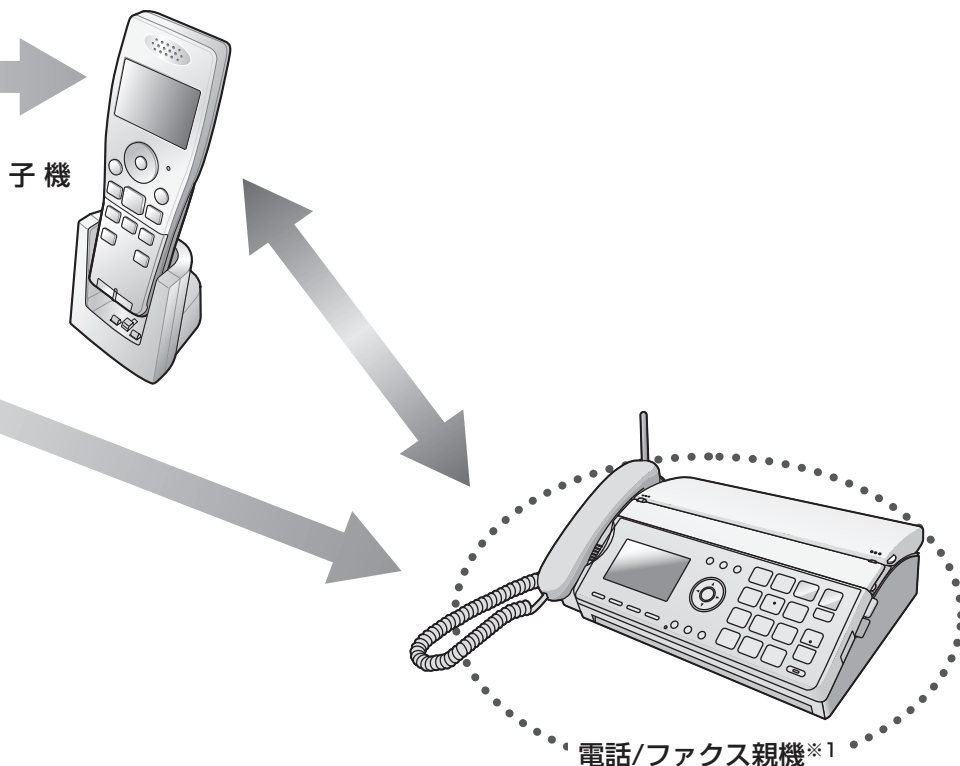
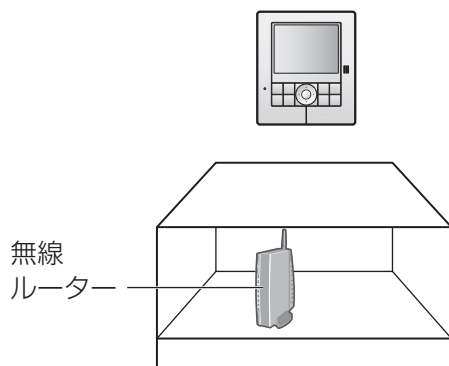
電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1とも約3 m以上離してください。

- **電子レンジ**
- **無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）**
- **ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）**

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。

※1 別売の電話/ファクスを接続時のみ。

※2 **親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。**

ドアホン親機と電話/ファクス親機間の電波状態を見るには（☞ 82ページ）

使用上のお願い（つづき）

電波について

● **本機は、2.4～2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。**
移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

● **本機の使用周波数に関わるご注意**
本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 102ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 102ページ）へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

● ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

その他

● 分解・改造することは法律で禁じられています。
（故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
● 停電すると本機は使えません。
● 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
● 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しを販売店にご相談ください。

ドアホン親機を廃棄・譲渡・返却するとき

● お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や、録画・録音など）を消去してください。
• ドアホン親機の情報を消去 ➔ 48ページ「設定の初期化」で「設定の初期化＋全画像を消去」を行う

セキュリティに関するお願い

LANケーブル(市販品)を使って、本機と別売のカメラ・テレビ・レコーダーを接続したり、
本機をインターネットに接続して「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用するときは
下記の注意が必要です。

● **イーサネット上で送受信される映像などのデータは、暗号化されていません。※1**
本機をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。
- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい(ドアホン映像データなどの通信内容)
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

● **本機をご使用になる場合は、十分なセキュリティ対策を行ってください。※2**
セキュリティ対策は下記のとおりです。
〔本機をインターネットに接続している場合〕
- ルーターの取扱説明書に従って、適切なセキュリティ設定(ファイアウォール設定など)を行う
- 無線LANをお使いの場合は、無線LAN機器の取扱説明書に従って、暗号化などの適切なセキュリティ設定を行う

● **セキュリティに関する設定を行わずに使用された場合に発生した、セキュリティの問題および、これによって生じた損害に対し、当社は責任を負いかねます。**

● **以下のような場合は、本機を初期化してください。(☞ 48ページ)**
- 当社が関与できない外部業者に、修理を依頼されるとき
- 他人に譲渡するとき
- 本機を廃棄するとき

※1 「みえますねっとLite」サービスのような家の外へ送信するデータについては暗号化されています。

※2 セキュリティに関する設定を行わずに使用した場合に生じる問題を、十分理解されたうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、ルーターや無線LAN製品を使用されることをお勧めします。

各部のなまえとはたらき　ドアホン親機

液晶ディスプレイ

●映像などを表示する（☞ 17ページ）

留守 ●留守設定/解除する（☞ 26ページ）

留守ランプ(赤)
留守設定中：点灯
新しい留守録画あり：点滅

様子を見る
モニター ●ドアホンや別売のカメラ側の様子を見る（☞ 23、63ページ）

モニターランプ(赤)
モニター中：点灯

●録画した画像を再生する（☞ 30ページ）

再生ランプ(青)
新しい在宅自動録画あり：点滅
（☞ 24ページ）

●表示中の映像を録画する（☞ 25、65ページ）

室内呼 ●子機を呼び出す（☞ 22、33ページ）

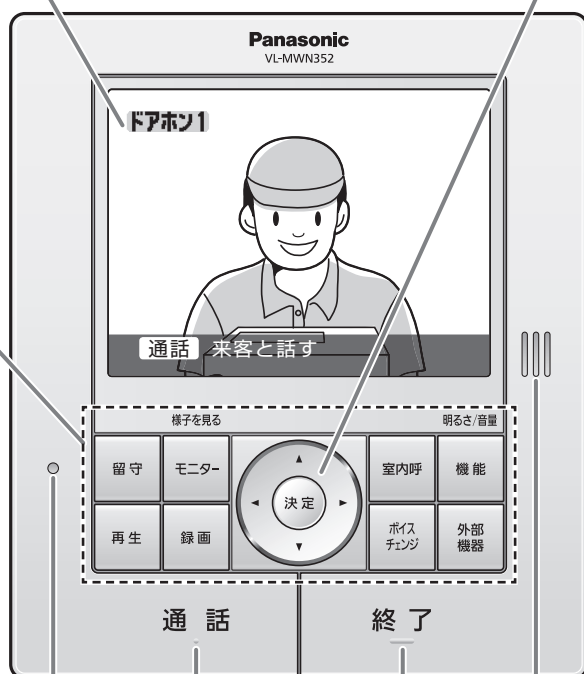
明るさ/音量
機能 ●明るさや音量を変える（☞ 21、41ページ）
●機能設定をする（☞ 44～49ページ）

ボイスチェンジ ●自分の声を低く変える（☞ 21ページ）

ボイスチェンジランプ(赤)
ボイスチェンジ中：点灯

●電気錠などの外部機器を操作する（☞ 54ページ）

外部機器ランプ(青)
外部機器が1台のみ※で、施錠/ONのとき：点灯

※外部機器が2台の場合は、常時消灯します。

マイク

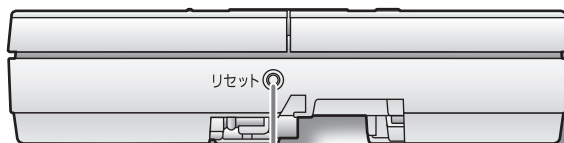
終了ボタン

●通話などの操作を終わる

スピーカー

通話ボタン／ランプ(青)

●通話する（☞ 20ページ）
●着信中（カメラ着信を除く）はボタンの中央付近が点滅し、通話中は点灯する

■下から見たとき

リセットスイッチ

●ドアホン親機を再起動する（☞ 92、94、98ページ）

マルチファンクションキー

●項目の選択などに使う
●操作ガイドで表示された操作をする（☞ 下記）

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

（**上**または**下**を押す）　（**左**または**右**を押す）　（**決定** を押す）

液晶ディスプレイ（モニター画面）の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

■通話・モニター中の画面

① 着信中･通話中･モニター中は、相手の機器名、画像再生中は、撮影した機器名を表示する

機器番号

② 通話中・モニター中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出してきた機器名を表示する（☞ 81ページ）

機器番号

③ プレストーク通話中に表示する（☞ 21 ページ）

④ 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する（☞ 54ページ）

※別売のカメラを増設時のみ。

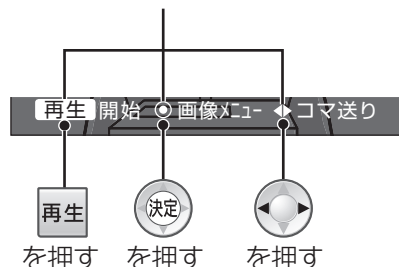
操作ガイド

●画面ごとに、有効な操作と操作ボタンのマークを「操作ガイド」として表示する

〈ドアホン着信中の場合〉

例）来客と話すときは 通　話 を押すことを意味しています

〈録画再生中の場合〉

操作ボタンのマークを表しています

●上記の表示は一例で、操作する画面ごとに変わります。
●着信中やモニター中の操作ガイドは、決定 を押すごとに表示/非表示ができます。

各部のなまえとはたらき　ドアホン

レンズカバー

マイク

LEDライト

〔暗いときでもカラー撮影ができる照明用のライト〕

●「ドアホン照明自動点灯」設定（☞ 47ページ）により自動で点灯したり、通話中などドアホン親機や子機から手動で点灯/消灯させることもできる

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ

●暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

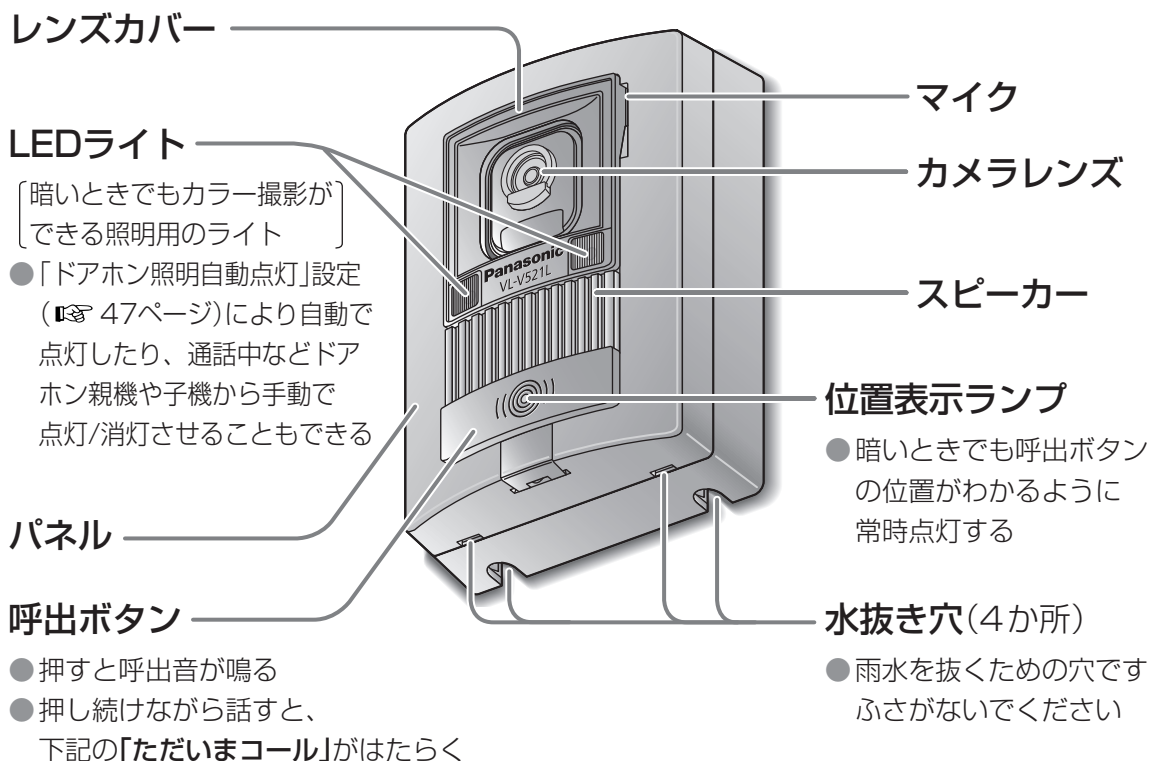
パネル

呼出ボタン

●押すと呼出音が鳴る

●押し続けながら話すと、下記の**「ただいまコール」**がはたらく

水抜き穴（4か所）

●雨水を抜くための穴です ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

① **呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける**

●ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます

●室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます

② 終わったら、**指を離す**

お知らせ　● ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 41ページ）に連動します。

ドアホンの画質について

下記のような場合がありますが、故障ではありません。

- 昼間など、ドアホンの周囲が明るいとき、来客の服装（色など）によっては色味が異なって映る
- 夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、色味が落ちる（LEDライト消灯時のみ）
  また、外灯などで明るいところや白い壁が緑っぽく映る

日付・時刻の設定

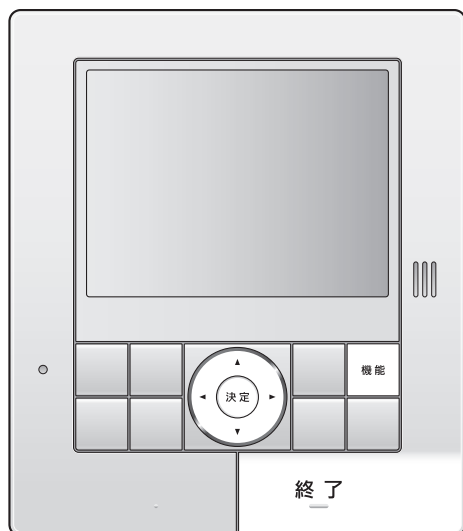
ドアホン親機には録画機能があります。下記の設定をしないと、録画日時（☞ 31ページ）が記録されません。
（時刻は1か月に約60秒ずれることがあります）

1

 を押し、 で

[日時の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

2

（決定）を押し、日時を設定する

（◀▶）：年・月・日・時・分の項目を選ぶ

（▲▼）：数字を選ぶ
（押し続けると数字が早く切り替わる）

（設定例）

日時
2009 年 7 月 1 日 12:00

3

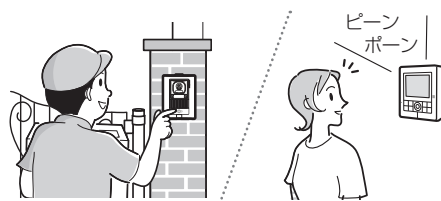
設定が終わったら、

（決定）を押す

●「ピー」と鳴り、手順1の画面を表示する

4

 を押す

呼び出しに応答する

呼び出してきたドアホン※

※「ドアホンの名前」の設定を変更したときは、その名前を表示します。
（☞ 46ページ）

1 ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

● **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
➔ 21ページの「逆光補正」をすると、見えやすくなります

2 応答する（相手と話す）には

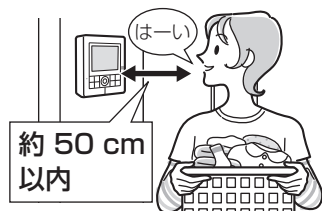
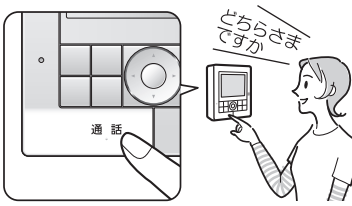
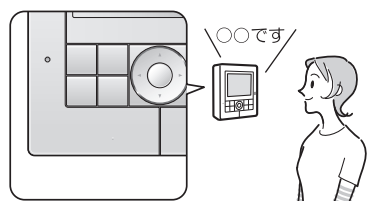
[通 話] を押す

約50 cm以内で
相手と交互に話す
●同時に話すと声が途切れる

3 終わったら、**[終 了] を押す**

ボタンを押さずに声で応答する（音声応答）

「音声応答」の設定を「ON」（☞ 44ページ）にすると、声で応答できます。

① **呼出音が鳴ったら、声で応答する**（相手には聞こえない）

● 「ピッ」と鳴ったら、話ができる
● 周囲の音（☞ 下記）に反応して応答してしまうことがあります
  • ペットの鳴き声やテレビ
  • 子機の呼出音（子機を近くに置いているとき）

お知らせ

● **着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 24ページ）**
● 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
● ただいまコール（☞ 18ページ）の場合は、応答しなくても呼出音に続けて相手の声が聞こえますが、相手と通話したいときは [通 話] を押してください。（音声応答はできません）
● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 81ページ）**

通話中・モニター中の機能

画面の明るさを変える

 明るさ/音量 機能 を押す → で[明るさ]を選ぶ → で変更する → 明るさ/音量 機能 を押す

受話音の大きさを変える

 明るさ/音量 機能 を押す → で[音量]を選ぶ → で変更する → 明るさ/音量 機能 を押す

ドアホンの逆光補正をON/OFFする

 明るさ/音量 機能 を押す → で[逆光補正]を選ぶ → で[ON]または[OFF]にする → 明るさ/音量 機能 を押す

●別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません

ドアホンのLEDライトを点灯/消灯する

 明るさ/音量 機能 を押す → で[照明]を選ぶ → で[ON]または[OFF]にする → 明るさ/音量 機能 を押す

●別売のドアホンでLEDライトがない場合、この操作はできません

録画・録音する

 録画 を押す

●詳しくは(☞ 25ページ)

自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）

●通話中のみ

ボイスチェンジ を押す(ランプ点灯)

●再度押すと消灯し、元の声に戻る

●声の高さは、設定により変更できる(☞ 44ページ)

送話と受話を切り替えて話す（プレストーク通話）

●自分や相手の周囲が騒がしく通話しにくいときに

「ピッ」と鳴るまで 通 話 を約2秒間押す(画面に と表示)

■話すとき(送話)

通 話 を押したまま話す

■聞くとき(受話)

通 話 から指を離す

● 通 話 を押している間は、相手の声が聞こえません

お知らせ

●ボイスチェンジやプレストーク通話は、通話終了後に解除されます。

通話を転送する

ドアホンとの通話を、必要に応じて転送できます。
- 転送できる相手：
  子機や別売の増設モニター（ドアホン親機に子機登録されているもの）
- 受ける側の操作は子機（VL-W606）の例です。
  その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

転送する側

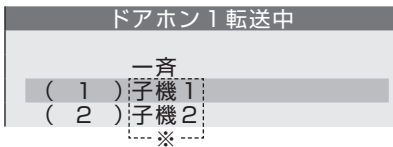
1

ドアホン通話中に、

室内呼 を押し、転送先の相手に呼びかける

- ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

転送先が複数あるとき

ドアホン１転送中
一斉
（ １ ）子機１
（ ２ ）子機２
※

で転送先を選び、決定を押したあと、相手に呼びかける

※「子機の名前」の設定を変更したときは、その名前を表示（☞ 47ページ）

受ける側

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、充電台から子機を取る、または

通話 を押して話す

2

相手が出たら、

通話を転送することを伝え、

終了 を押す

- 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、

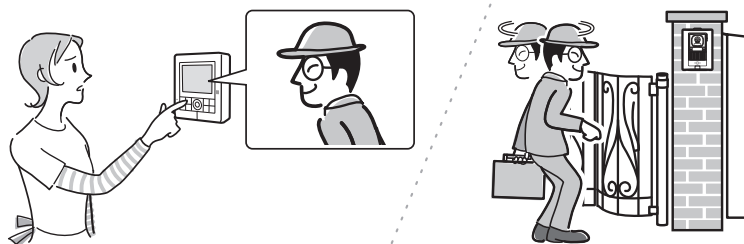
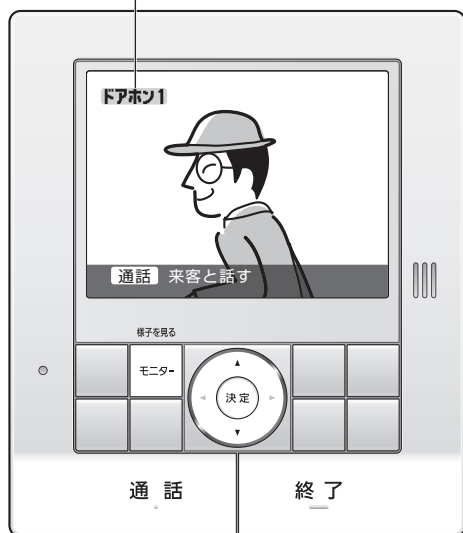
ドアホン側の相手と話す

- 終わったら、

を押す

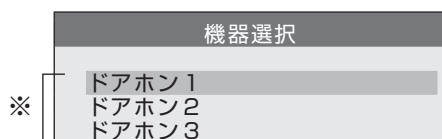
■**ドアホン親機で転送を受けるとき**
上記の「受ける側」の操作を行う

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、上記手順1の画面で増設モニターは「子機6」と表示されます。
- 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには ➔ 通話 を押す
- 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

■モニター中の機能
（☞ 21ページ）

※「ドアホンの名前」の設定を変更したときは、その名前を表示します。（☞ 46ページ）

1 モニター を押す

- 映像が表示される
- 下記の画面が出たときは、◇ でモニター先を選び、(決定) を押す

選択した場所の映像が表示される

ドアホンモニター中は…

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

- ドアホン側の相手と話すには
  通 話 を押す

2 終わったら、
終 了 を押す

お知らせ

- モニターは約90秒で自動的に終了します。
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 81ページ）**

録画・録音機能について

下記のように録画ができ、録画した画像は最大100件までドアホン親機に記録できます。

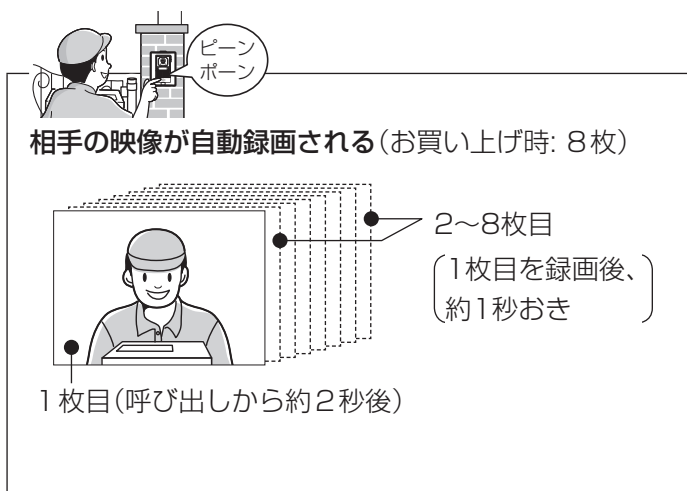
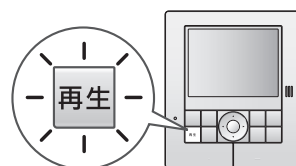
● 100件中の25件は録音もでき、音声付き画像として記録されます。

録画の方法		機能の概要	録音件数	録画件数
在宅のとき	自動録画(☞ 下記) 留守ランプ**消灯**	来客があるたびに、映像を自動で録画する機能です。(お買い上げ時の設定「ON」) ●**録音はできません。**	―	最大100件※
	手動録画(☞ 25ページ)	着信中・通話中・モニター中に、映像を見ながら手動で録画する機能です。 ●**通話中・モニター中は、同時に録音もされます。**	最大25件	
留守のとき	留守録画(☞ 26ページ) 留守ランプ**点灯**	あらかじめ留守設定することにより、留守中の来客映像を「留守録画」として自動で録画する機能です。 ●**設定により、相手の用件の録音もできます。**		

※お買い上げ時の設定では1件につき8枚を録画するので、最大800枚の録画ができます。
画質を優先したいときは、45ページの「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。

● **録画や録音がいっぱいになったとき(☞ 29ページ)**

在宅時の自動録画について

ドアホンから呼び出しがあると、応答する/しないに関わらず自動的に録画します。

応答しなかったとき…

(再生は ☞ 30ページ)

● 子機は、待ち受け画面に が表示されます。

お知らせ

● 呼び出しに応答した場合、録画した画像は再生済み扱いになります。

● 通話中やモニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき(☞ 81ページ)は、その呼び出しに応答しないと録画されません。

● 8枚録画の場合、録画中に別の機器から呼び出しがあると、録画が中断され、1件あたりの録画枚数が少なくなることがあります。(最低1枚は録画されます)

● 再生ランプが点滅しないようにしたり、自動録画しないように設定することもできます。(☞ 45ページ「再生ランプ点滅」、「ドアホン自動録画」)

在宅時に手動で録画・録音する

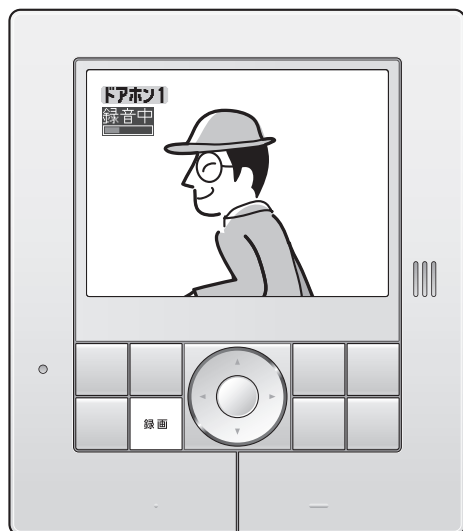
着信中・通話中・モニター中のドアホン映像を、必要に応じて録画できます。

● ドアホン通話中やモニター中は録音もされるので、音声付きの画像として録画できます。

● 録音時間は約20秒間(固定)です。

1 映像表示中、録画をしたいときに

録画 を押す

例)

録音中:音声付き画像の録音中に表示され、終了すると消える

録画中:画像のみの録画中に表示され、終了すると消える

お知らせ

● 「ドアホン録画数」の設定が「8枚」の場合、録画時に約1秒おきの映像を8枚録画します。
8枚録画の場合は画質が粗くなりますので、画質を優先したいときは、「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。(☞ 45ページ)

● 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。(再生は ☞ 30ページ)

● 次の場合は録音ができないため、通話中やモニター中でも、画像のみを録画します。
(☞ 29ページ)
  • すでに録画された画像の中に、未再生の音声付き画像(留守録画)と保護設定した音声付き画像が合計25件あるとき(留守ランプが通常より速く点滅しています)

● 録音中に別の機器から呼び出しがあったとき、呼び出しに応答すると録音が中止されます。

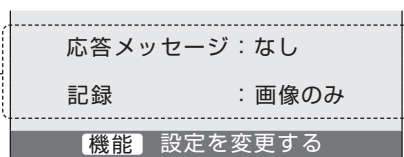
留守設定して録画・録音する

留守設定すると、留守中のドアホン映像を「留守録画」として記録し、留守ランプの点滅でお知らせします。また留守録画は、ドアホン親機の留守ボタンを押すだけで自動再生されます。

- 留守録画時に、応答メッセージを流して相手の用件を録音(最大25件)することもできます。(お買い上げ時の設定：応答メッセージを流さず、画像のみを録画)

お出かけ前に、留守設定する

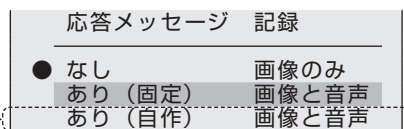
1 留守 を押す (留守ランプが点灯する)

応答メッセージ	：なし
記録	：画像のみ

機能 設定を変更する

- 現在の設定内容に応じた音声案内が流れ、留守設定される
  - 用件を録音したいときなど、設定を変更するには ➔ 手順2へ
  - 現在の設定でよければ ➔ 手順3へ

2 設定を変更するとき

① 機能 を押し、 で設定したい項目を選ぶ

	応答メッセージ	記録
●	なし	画像のみ
	あり(固定)	画像と音声
	あり(自作)	画像と音声

自作応答録音時(☞ 28ページ)のみ表示

- 応答メッセージ「あり」を選んだときは、 で応答メッセージを試聴できる

② 決定 を押す

3 終わったら、

終 了 を押す

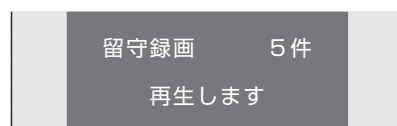
帰ってきたら、留守解除する

1 留守 を押す

■新しい留守録画なし

➔ 留守解除され、留守ランプが消灯する

■新しい留守録画あり(留守ランプ**点滅**時)

留守録画	５件
再生します	

(日時の古い順に留守録画の自動再生が始まる)

- 音声付きの8枚録画の場合、用件再生中は画像が繰り返し再生される
- 再生画面の見かたや再生中の機能は(☞ 31ページ)
- 自動再生が終わると、「留守中の画像は以上です」と表示され、留守ランプが消灯する

下記の表示が出たとき

ほかに未再生の画像があります
再生ボタンを押してください

在宅時の自動録画で未再生画像があります。再生は(☞ 30ページ手順1へ)

お知らせ

- 一度再生した留守録画は、他の再生済み画像と一緒に記録されます。もう一度再生するには、30ページ「再生ランプ消灯時」の手順で再生してください。
(音声付きの場合、音声再生の途中で再生をやめたときも、その画像は再生済み扱いになります)
- **2世帯住宅などで、ドアホンを2台以上設置している方へ**
世帯ごと(ドアホンごと)に留守設定をすることはできません。

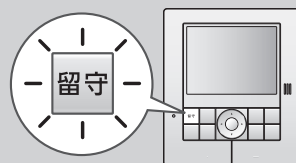
留守設定が「画像と音声」の場合は、下記のように留守応答します

ドアホンから呼び出しがあると…

応答メッセージが流れ(※1)、この間、相手の映像が自動録画される(※2)

相手の用件が約20秒間録音される(※3)

録音が終わると…

未再生の留守録画(音声付き)1件となり、留守ランプが点滅する

(留守解除･再生は ☞ 26ページ)

※1 応答メッセージについて

- 固定：「ご用の方はピーという音のあと、20秒以内でメッセージをお話しください」
  自作：録音したメッセージが流れます。(☞ 28ページ)
- ドアホン側に流れるメッセージの音量は変更できます。(☞ 46ページ「留守応答音量」)

※2 録画のタイミングと1件あたりの録画枚数について

在宅時の自動録画と同じです。(☞ 24ページ)

※3 用件録音について

- 録音時間は約20秒間の固定です。
  (相手が何も話さなくても録音され、1件の音声付き画像になる)
- 録音中、室内ではドアホン親機のスピーカーからのみ相手の声が聞こえます。
  (子機は映像表示のみ)

お知らせ

- 留守設定が「画像と音声」でも次の場合は録音できないため、画像のみを録画します。(☞ 29ページ)
  - すでに録画された画像の中に、未再生の音声付き画像(留守録画)と保護設定した音声付き画像が合計25件あるとき(留守ランプが通常より速く点滅し、応答メッセージも流れません)
- 留守応答中も、[通 話]を押してドアホンの相手と通話できます。(20ページの「音声応答」はできません)
  録音は途中で止まり、録画した画像は再生済み扱いになります。
- 留守応答中に別の機器から呼び出しがあっても、留守応答が終わるまで(約30秒間)は呼び出しが通知されません。
- **別売のカメラを接続してご利用の場合(☞ 60ページ)**
  留守設定時にカメラのセンサーが反応すると、画像のみが自動録画され、カメラの留守録画(音声なし)として記録されます。(留守応答メッセージは流れず、音声録音もできません)
  自動録画のタイミングや録画枚数など詳しくは(☞ 64ページ)

留守設定して録画・録音する(つづき)

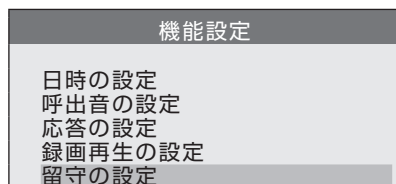
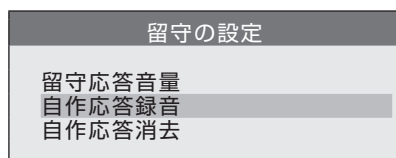
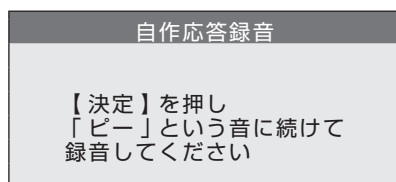
自分の声で応答メッセージを作る

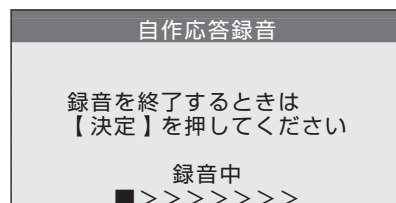
1 を押し、[上下左右ボタン] で [留守の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定 呼出音の設定 応答の設定 録画再生の設定 留守の設定

2 [決定] を押し、[上下左右ボタン] で [自作応答録音]を選ぶ

留守の設定
留守応答音量 自作応答録音 自作応答消去

3 を押す

自作応答録音
【 決定 】を押し 「 ピー 」という音に続けて 録音してください

4 [決定] を押し、「ピー」音のあとマイクに向かって録音する(16秒以内)

自作応答録音
録音を終了するときは 【 決定 】を押してください 録音中 ■>>>>>>>>

- [決定] を押す、または16秒経過すると、「ピー」音が鳴って録音が終了し、録音したメッセージが再生される
  ➔ 再生が終わると、手順2の画面を表示(録音をやり直すには、手順3へ)

5 終わったら、[終　了] を押す

- **防犯上、家の中に誰もいないことを想像させるメッセージは録音しないでください。**
  (避けてほしい表現:「留守にしています」「外出中です」「旅行中です」など)

- 録音したメッセージを消すには(☞ 46ページ「自作応答消去」)

録画・録音がいっぱいになったとき

画像の自動更新について

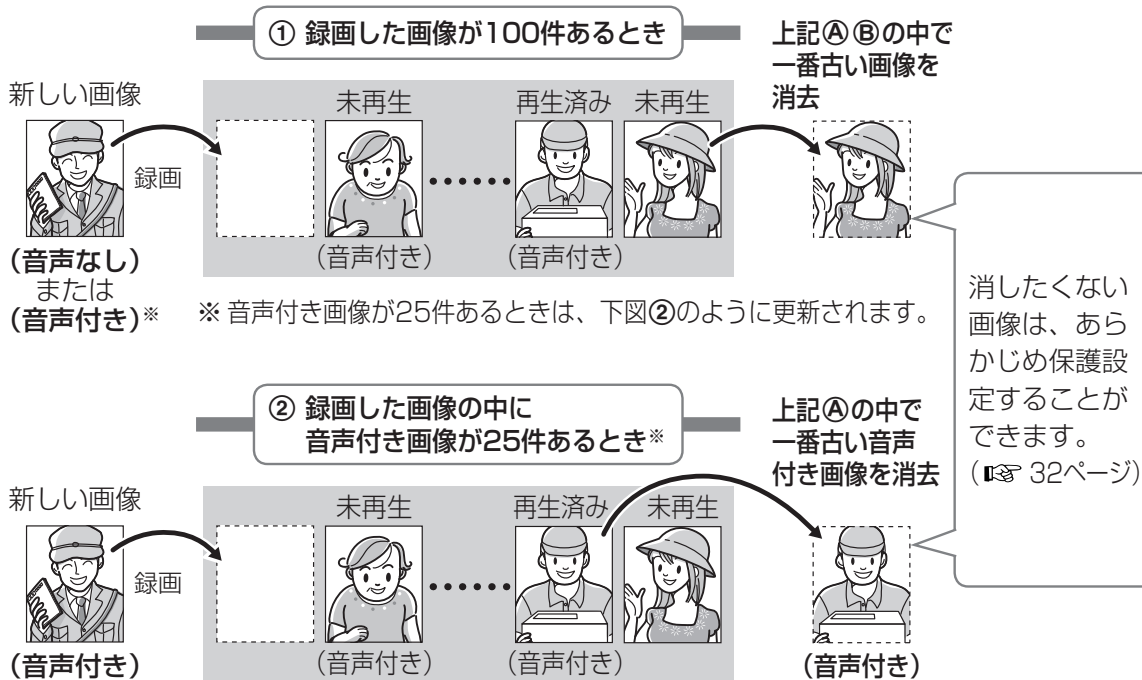
録画や録音の件数がいっぱいになると、新しい録画の際に、一番古い画像を自動的に消去します。（自動更新）

■ 自動更新で消去されるもの

Ⓐ 再生済みの画像
Ⓑ 未再生の画像で音声なしのもの

● **未再生の留守録画で音声付きの画像は、再生するまで消去されません。**

■ 自動更新は、次の場合に行われます

- 録画した画像が100件あるときに、新しい画像を録画したとき（下図①）
- 音声付きの画像が25件あるときに、新しい音声付き画像を録画したとき（下図②）

※次の場合は録音ができなくなります

音声付き画像で「未再生の留守録画」と「保護画像」は自動更新で消去されないため、2つの合計が25件になると新しい録音ができなくなり、留守ランプが通常より速く点滅します。（ただし、画像のみの録画はできます）

↓

● **新しい留守録画があるときは、こまめに再生するようにしてください。（☞ 26ページ）**
再生済みの画像は自動更新で消去されるので、次の録画では録音もできるようになります。

画像を再生する

在宅時（留守ランプ消灯）に自動録画された画像や、再生済みの画像を見るときの操作です。
●**再生ランプ点滅時**：在宅時に自動録画された未再生画像を再生できます。
●**再生ランプ消灯時**：再生済みの画像を再生できます。
（在宅時の未再生画像があれば、未再生画像も再生できます）

再生ランプ点滅時

1 [再生] **を押す**（ランプが消灯する）

ドアホン未再生　5件

2 (決定) **を押す**

●日時の最も新しい画像が表示される
（8枚録画などの連続画像は、1枚目を表示）

■ **連続画像を再生（自動コマ送り）するには**

 を押す

（最後まで再生すると1枚目に戻って停止
• 音声付き録画の場合、用件再生中は画像が繰り返し再生される）

■ **画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには**

(◆) を押す（押すごとに日時の新しい順に表示）

●再生画面の見かたや再生中の機能は（☞ 31ページ）

3 終わったら、[終了] **を押す**

再生ランプ消灯時

1 [再生] **を押す**

再生メニュー	
ドアホン未再生	5件
ドアホン再生済	32件

2 (◆) **で再生したい項目を選ぶ**

●画像がない項目は薄緑の文字で表示され、選べません

3 (決定) **を押す**

例）ドアホン再生済　32件

4 **あとは、左の手順2～3を行う**

画像の消去について

録画件数がいっぱいになると、画像は自動的に消去（☞ 29ページ）されますが、必要に応じて
• 個別消去（☞ 32ページ）
• 画像全消去（☞ 48ページ）
もできます。

お知らせ

●留守ランプ点滅時に上記の操作をすると、まず留守録画が自動再生されます。
●別売のカメラをご使用時、「再生ランプ点滅時」の手順1で右の画面が出たとき ➔ (◆) でどちらかを選び、(決定) を押す

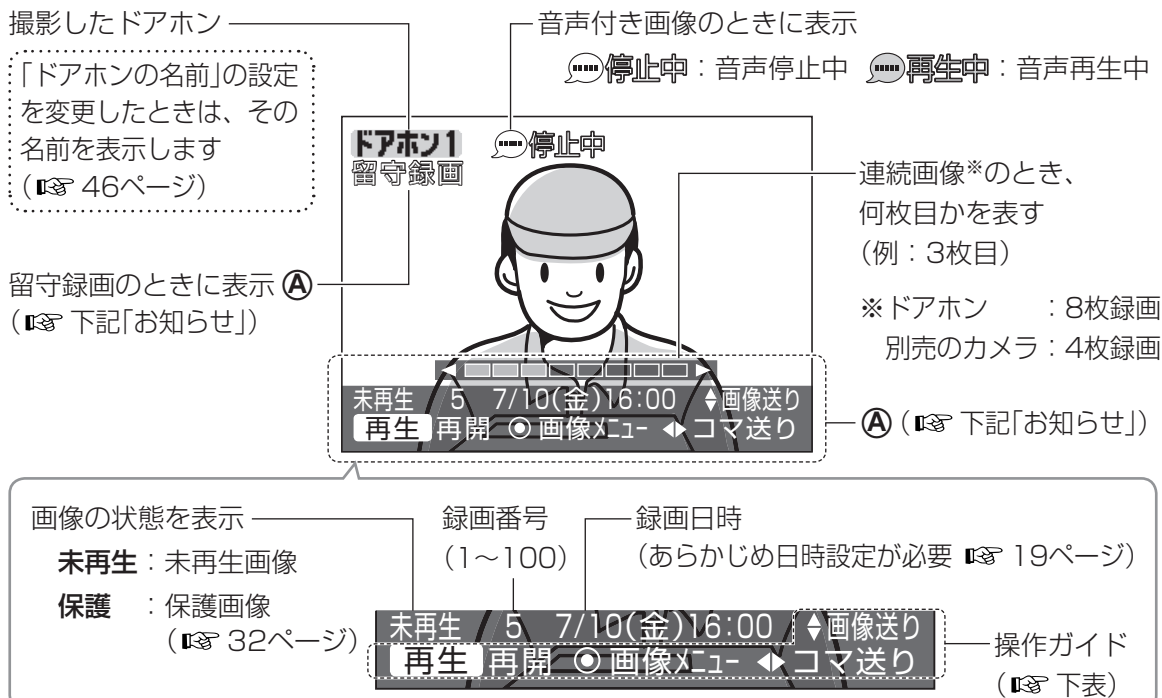
ドアホン未再生	5件
カメラ　未再生	2件

再生画面の見かたと再生中の機能

画像の状態を表示
未再生：未再生画像
保護　：保護画像
（☞ 32ページ）

録画番号
（1～100）

録画日時
（あらかじめ日時設定が必要 ☞ 19ページ）

未再生　5　7/10(金)16:00　画像送り
再生 再開 ◎ 画像メニュー ◆コマ送り

操作ガイド
（☞ 下表）

再生中の機能

操作ボタン	操作ガイド	機能説明
再生	再生 開始	連続画像の再生（自動コマ送り）や、音声付き画像の音声を再生する
	再生 再開	留守録画の自動再生を再開する
	再生 停止	再生を停止する
決定	◉ 画像メニュー	再生中の画像を、保護または消去する（☞ 32ページ）
▲▼	◆ 画像送り	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を送る（または戻す） • 押し続けると、早送り／早戻しができる （ただし、26ページの留守録画再生時を除く）
◀▶	◀▶ コマ送り	連続画像の自動コマ送り停止中、1コマ単位で画像を送る（または戻す）
◀	（表示なし）	再生中の音声を、用件の頭から聞き直す
明るさ/音量 機能	（表示なし）	明るさや再生音量を変更する • 変更するには：▲▼で［明るさ］や［音量］を選ぶ ➔ ◀▶で変更

お知らせ

● ドアホンの8枚録画の場合、画質が粗くなります。画質を優先したいときは、45ページの「ドアホン録画数」の設定を「1枚」に変更してください。
● 連続画像で所定枚数の録画ができなかったときは、コマ送り再生中に「画像中断がありました」と表示して、1枚目に戻ります。
● 「録画日時表示」の設定（☞ 45ページ）を「3秒表示」にすると、上記画面表示のⒶ部分を約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

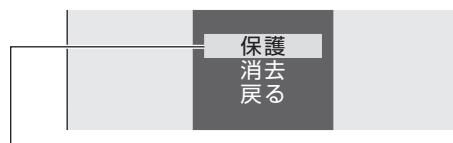
画像を保護または消去する

録画した画像がいっぱいになると、古い画像から自動更新で消去されます。(☞ 29ページ)
消したくない画像は保護してください(最大20件)。不要な画像の消去もできます。

- 保護設定や個別消去は、画像再生中に行います。
- すべての画像を一度に消去したいとき(☞ 48ページ「画像全消去」)

1 画像再生中に

 を押し、 で

[保護]または[消去]を選ぶ

保護画像のときは「保護解除」と表示される

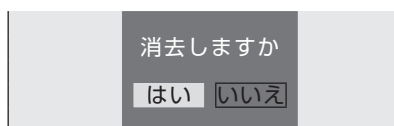
2

[保護]を選んだとき

- 「保護」と表示される

[消去]を選んだとき

① 決定 **を押し、** **で[はい]を選ぶ**

消去しますか
はい いいえ

② 決定 **を押す**

- 消去が終わると、次の画像が表示される

3 終わったら、

終 了 を押す

■**保護を解除するとき**

① 保護画像を再生中に 決定 を押し、
で[保護解除]を選ぶ

② 決定 を押す

- 「保護」の表示が消える

お知らせ

- 保護設定(解除)や消去は1件単位で行われます。
(連続画像の場合は、一連の画像すべてが保護または消去されます)
- 保護件数が20件になると、それ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

子機と話す ドアホン室内通話

● 室内通話できる相手：子機や別売の増設モニター（ドアホン親機に子機登録されているもの）
● 受ける側の操作は子機（VL-W606）の例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

呼び出す側 → **受ける側**

1 室内呼 を押し、相手に呼びかける

● 通話ランプが点灯

呼び出し先が複数あるとき

で呼び出す相手を選び、決定 を押したあと、相手に呼びかける

※「子機の名前」の設定を変更したときは、その名前を表示（☞ 47ページ）

（受ける側）

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、充電台から子機を取る、または

通話 を押して話す

2 相手が出たら、

話す

● 受話音の大きさの変更やプレストーク通話もできる（☞ 21ページ）

3 終わったら、終 了 を押す

■ ドアホン親機で室内呼び出しを受けるとき
上記の「受ける側」の操作を行う

お知らせ

● 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了します。
● お買い上げ時の設定では、上記手順1の画面で増設モニターは「子機6」と表示されます。
● **通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 81ページ）**

「みえますねっとLite」サービスを利用する

「みえますねっとLite」サービスとは

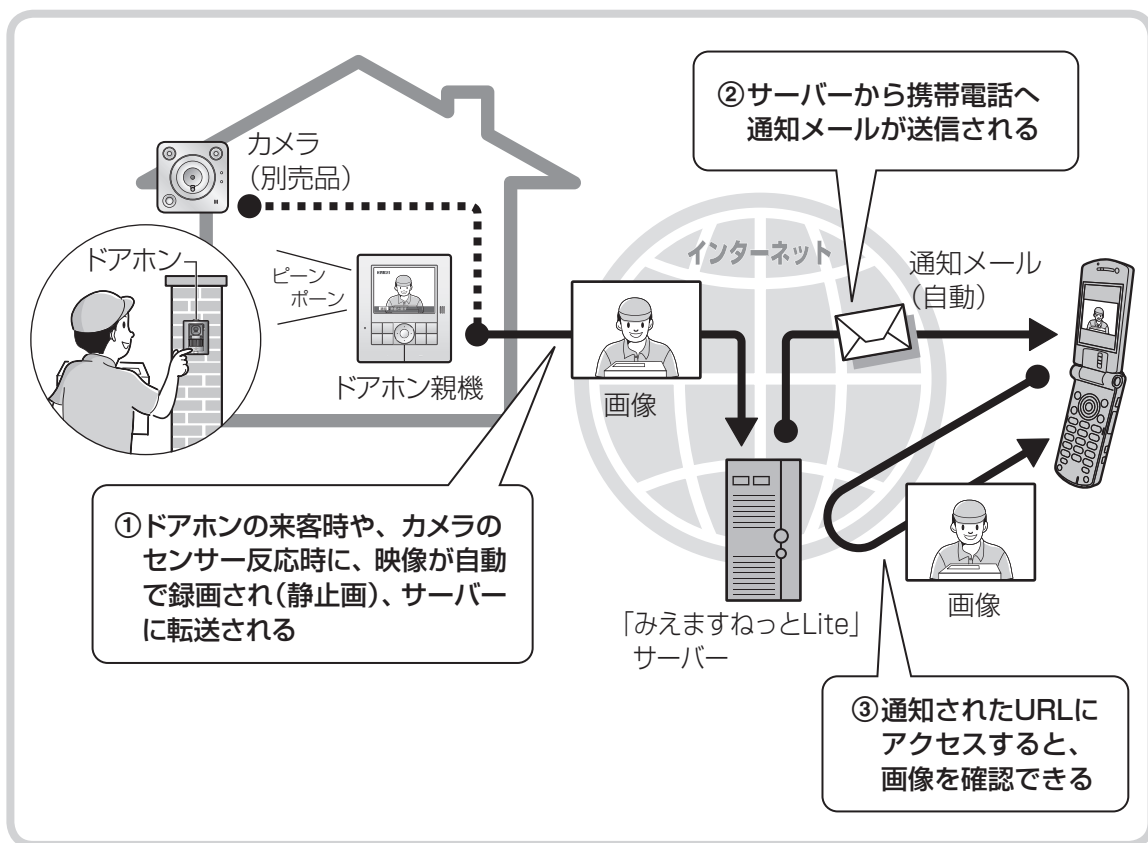
「みえますねっとLite」は、あらかじめ登録したドアホンや別売のカメラの画像（自動録画した静止画）を携帯電話で見ることができるサービス（有料）です。

- **サービスを利用するには、市販のLANケーブルを使って、ドアホン親機やカメラをブロードバンド環境でインターネットに接続しておく必要があります。（接続例は** **☞ 59ページ****）**
- **インターネットに接続するには、お使いの環境により、ブロードバンドルーターのDHCP機能を「有効」に設定するか、49ページの「モード切替」設定を「PCモード」にしてドアホン親機のIPアドレスを適切な固定IPアドレスに変更してください。**
- **サービスの詳細など、添付の「みえますねっとLite ガイド」とあわせてお読みください。**

カメラ
（別売品）
ドアホン
ピーンポーン
ドアホン親機
インターネット
画像
通知メール
（自動）
画像
「みえますねっとLite」
サーバー

①ドアホンの来客時や、カメラのセンサー反応時に、映像が自動で録画され（静止画）、サーバーに転送される

②サーバーから携帯電話へ通知メールが送信される

③通知されたURLにアクセスすると、画像を確認できる

■ サービスの利用申し込みについて

携帯電話を使って、画像を見たい機器（ドアホンやカメラ）をサービスに登録します。

- ドアホンの画像を見たいときは、ドアホン親機を登録します。（☞ 35ページ）
- カメラの画像を見たいときは、カメラを登録します。（☞ 38ページ）

1つの契約で、**ドアホン親機とカメラを合わせて5台まで登録できます。**（2009年6月現在）

ドアホン親機をサービスに申し込む(登録)

ドアホン親機をインターネットに接続後、携帯電話とドアホン親機で申し込み操作を行います。

携帯電話の操作

1 ドアホン親機にはり付けられたQRコードを携帯電話で読み取り、
サービス申し込みページへアクセスする

2 **携帯サイトの案内に従って、携帯電話を操作する**

● 途中でドアホン親機の操作が必要になります。下記の手順3〜8を行ってください

ドアホン親機の操作

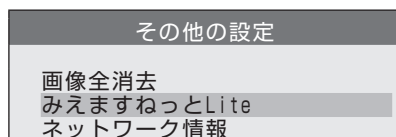
3 **[機能] を押し、◇で**
[その他の設定]を選ぶ

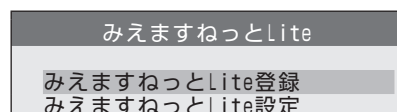
4 **(決定) を押し、◇で**
[みえますねっとLite]を選ぶ

その他の設定

画像全消去
みえますねっとLite
ネットワーク情報

ドアホン親機の操作(つづき)

5 **(決定) を押し、** **で**
[みえますねっとLite登録]を選ぶ

みえますねっとLite

みえますねっとLite登録
みえますねっとLite設定

6 **(決定) を押し、◇で[はい]を選ぶ**

7 **(決定) を押し、◇で[はい]を選ぶ**

8 **(決定) を押す**

● ドアホン親機に録画されているドアホン画像(1枚)が、テスト用として専用サーバーに送信される

携帯電話の操作

9 **引き続き携帯電話を操作して、申し込みを完了させる**

● 携帯電話に契約完了のメールが送信される

■ドアホン親機にはり付けられたQRコードがないとき

右記のQRコードからアクセスしてください。

■QRコードを読み取れない携帯電話をご使用のとき

➔携帯電話専用の申し込みページ(https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do)からアクセスしてください。

どちらも、途中でドアホン親機のMACアドレスの入力が必要です。MACアドレスは48ページの機能設定「ネットワーク情報」で確認できるので、事前にメモを取ってから、申し込み操作をしてください。

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

ドアホンの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について

サービス申し込み後、必要に応じてドアホン親機で下記の設定や確認をしてください。

● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

機能名	設定内容と概要
みえますねっと Lite設定	利用する、[利用しない] ●「利用する」：サービスを利用するときに選ぶ （35ページのサービス申し込みの際、ドアホン親機で「みえますねっとLite登録」の操作をすると、自動的に「利用する」に変更されます。） •「利用する」の場合、45ページの「ドアホン自動録画」の設定が「OFF」でも来客時の映像は自動録画されます。 ●「利用しない」※1：ドアホンの来客時の画像を「みえますねっとLite」サービスのサーバーに転送させたくない場合※2や、サービスを解約した場合に選ぶ
みえますねっと Lite解除	はい、[いいえ] ●「はい」※1：このドアホン親機で「みえますねっとLite」サービスを利用しなくなった場合など、「みえますねっとLite」サービスからこのドアホン親機の登録を解除するときに選ぶ • 複数のドアホン親機をご利用の場合、解除したドアホン親機以外は引き続き利用することができます。

※1 **これらの設定をしても、「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。**
契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。
・解約は、携帯電話で「みえますねっとLite」サービスのウェブサイト（https://mlm.mypoke.jp/users/DoorTop.do）にアクセスして行ってください。

※2 再度、ドアホン画像を転送させたい場合は、「利用する」に設定してください。

● ドアホンの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について（つづき） ●

<table>
<tr><th>機能名</th><th>設定内容と概要</th></tr>
<tr><td>みえますねっと
Lite情報表示</td><td>
●「みえますねっとLite」サービスの現在の利用状況（契約状態／更新時間／ビジー時間）を表示する
• 契約状態　：ドアホン親機の申し込み（契約）状態を表示します。
<table>
<tr><td>—</td><td>「利用しない」に設定されています。</td></tr>
<tr><td>未契約</td><td>契約（ドアホン親機の登録）をしていない状態です。</td></tr>
<tr><td>契約中</td><td>契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。</td></tr>
<tr><td>仮契約</td><td>仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。</td></tr>
<tr><td>契約期限切れ</td><td>契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。</td></tr>
</table>
• 更新時間　：接続確認のため、ドアホン親機が「みえますねっとLite」サーバーと定期通信を行う間隔を表示します。
• ビジー時間：「みえますねっとLite」サーバーに保存できる枚数を超えたときに、再度、保存できるようになる時間を表示します。
</td></tr>
</table>

→ （決定）を押し、 で上記の機能名を選ぶ → を押す → 終わったら、［終 了］を押す

設定する項目によっては、続けて または で設定内容を選び、 を押す

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

別売のカメラをサービスに申し込む（登録）

カメラをインターネットに接続後、申し込み操作を行います。ドアホン親機に登録（☞ 61ページ）したカメラの場合、携帯電話とドアホン親機を使って申し込み操作ができます。

携帯電話の操作

1 カメラ本体（または送電装置）にはり付けられたQRコードを携帯電話で読み取り、
サービス申し込みページへアクセスする

2 **携帯サイトの案内に従って、携帯電話を操作する**

- 途中でドアホン親機の操作が必要になります。下記の手順3〜10を行ってください

ドアホン親機の操作

3 機能 **を押し、** ◇ **で**
[接続機器の設定]を選ぶ

4 決定 **を押し、** ◇ **で[カメラ]を選ぶ**

5 決定 **を押し、** ◇ **で**
登録するカメラの番号を選ぶ

6 決定 **を押し、** ◇ **で**
[みえますねっとLite]を選ぶ

ドアホン親機の操作（つづき）

7 決定 **を押し、** ◇ **で**
[みえますねっとLite登録]を選ぶ

みえますねっとLite／カメラ１
みえますねっとLite登録
みえますねっとLite設定

8 決定 **を押し、** ◇ **で[はい]を選ぶ**

9 決定 **を押し、** ◇ **で[はい]を選ぶ**

10 決定 **を押す**

- カメラ画像（1枚）が、テスト用として専用サーバーに送信される

携帯電話の操作

11 **引き続き携帯電話を操作して、申し込みを完了させる**

- 携帯電話に契約完了のメールが送信される
- メールが送られてこない場合は、40ページの「みえますねっとLite情報表示」で利用状況を確認してください

■カメラ本体（または送電装置）にはり付けられたQRコードがないとき

右記のQRコードからアクセスしてください。

■QRコードを読み取れない携帯電話をご使用のとき

➔携帯電話専用の申し込みページ（https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do）からアクセスしてください。

どちらも、途中でカメラ本体のMACアドレスの入力が必要です。MACアドレスは68ページの機能設定「カメラ詳細情報」で確認できるので、事前にメモを取ってから、申し込み操作をしてください。

● 別売のカメラの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について ●

サービス申し込み後、必要に応じてドアホン親機で下記の設定や確認をしてください。

● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。（変更のしかたは、ページ下にあります）

機能名	設定内容と概要
みえますねっとLite設定	利用する、[利用しない] ●「利用する」：サービスを利用するときに選ぶ （38ページのサービス申し込みの際、ドアホン親機で「みえますねっとLite登録」の操作をすると、自動的に「利用する」に変更されます。） ●「利用しない」※1：カメラのセンサー反応時の画像を「みえますねっとLite」サービスのサーバーに転送させたくない場合※2 や、サービスを解約した場合に選ぶ
みえますねっとLite解除	はい、[いいえ] ●「はい」※1：このカメラで「みえますねっとLite」サービスを利用しなくなった場合など、「みえますねっとLite」サービスからこのカメラの登録を解除するときに選ぶ • 複数のカメラをご利用の場合、解除したカメラ以外は引き続き利用することができます。

※1 **これらの設定をしても、「みえますねっとLite」サービスの解約はできません。**
契約済みの料金も返金できませんので、あらかじめご注意ください。
・解約は、携帯電話で「みえますねっとLite」サービスのウェブサイト（https://mlm.mypoke.jp/users/Sensor.do）にアクセスして行ってください。
※2 再度、カメラ画像を転送させたい場合は、「利用する」に設定してください。

■ 設定を変更するとき

[機能] を押し、(▲▼) で［接続機器の設定］を選ぶ ➔ (決定) を押し、(▲▼) で［カメラ］を選ぶ
➔ (決定) を押し、(▲▼) でカメラ番号を選ぶ ➔ (決定) を押し、(▲▼) で［みえますねっとLite］を選ぶ
➔ (決定) を押し、(▲▼) で上記の機能名を選ぶ ➔ (決定) を押し、(▲▼) または (◀▶) で設定内容を選ぶ
➔ (決定) を押す

●終わったら、
[終 了] を押す

「みえますねっとLite」サービスを利用する

「みえますねっとLite」サービスを利用する（つづき）

● 別売のカメラの「みえますねっとLite」設定/解除/情報表示について（つづき）●

<table>
<tr><th>機能名</th><th>設定内容と概要</th></tr>
<tr><td>みえますねっと
Lite情報表示</td><td>●「みえますねっとLite」サービスの現在の利用状況（契約状態／更新時間／ビジー時間）を表示する
• 契約状態　：カメラの申し込み（契約）状態を表示します。
<table><tr><td>—</td><td>「利用しない」に設定されています。</td></tr><tr><td>未契約</td><td>契約（カメラの登録）をしていない状態です。</td></tr><tr><td>契約中</td><td>契約が完了し、「みえますねっとLite」サービスが利用できます。</td></tr><tr><td>仮契約</td><td>仮契約中です。「みえますねっとLite登録」を設定し、契約を完了してください。</td></tr><tr><td>契約期限切れ</td><td>契約の期限が切れており、携帯電話での申し込みが必要です。</td></tr></table>• 更新時間　：接続確認のため、カメラが「みえますねっとLite」サーバーと定期通信を行う間隔を表示します。
• ビジー時間：「みえますねっとLite」サーバーに保存できる枚数を超えたときに、再度、保存できるようになる時間を表示します。</td></tr>
</table>

■ 設定を確認するとき

機能 を押し、◇ で[接続機器の設定]を選ぶ ➔ 決定 を押し、◇ で[カメラ]を選ぶ ➔ 決定 を押し、◇ でカメラ番号を選ぶ ➔ 決定 を押し、◇ で[みえますねっとLite]を選ぶ ➔ 決定 を押し、◇ で[みえますねっとLite情報表示]を選ぶ ➔ 決定 を押す

●終わったら、
終了 を押す

お好み設定

呼出音の大きさを変える 呼出音量

ドアホン親機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

- ドアホンからの呼び出し　　　：３段階＋「切」
- 別売のカメラからの呼び出し　：３段階＋「切」
- 室内呼び出し　　　　　　　　：３段階

1 機能 を押し、（上下ボタン）で
[呼出音の設定]を選ぶ

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

2 決定 を押し、（上下ボタン）で
[呼出音量]を選ぶ

呼出音の設定
呼出音量
呼出音
カメラ呼出消音

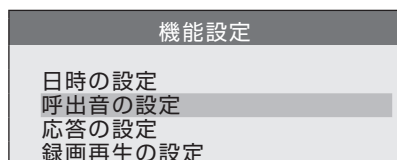
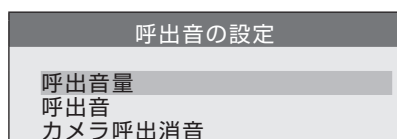
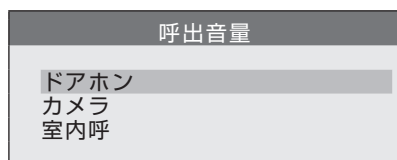
3 決定 を押し、（上下ボタン）で
音量を変えたい項目を選ぶ

呼出音量
ドアホン
カメラ
室内呼

4 決定 を押し、（上下ボタン）で音量を選ぶ

（例）

呼出音量／ドアホン
●大
中
小
切

現在の設定値

●選んだ音量で呼出音が鳴る
- 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る

5 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、
終　了 を押す

お知らせ

●呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に変更することもできます。

① 着信中に 機能 を押し、（上下ボタン）で[呼出音量]を選ぶ

② で音量を変更する

（例）

③ 終わったら 機能 を押す

（左ボタン）を押して小さく

（右ボタン）を押して大きく

■呼出音量を「切」（鳴らない）にするには
（ドアホン、カメラのみ）

「ピピッピピッ」と鳴るまで

（左ボタン）を押し続ける

●「切」を解除するには ➔ （右ボタン）を押す

呼出音を変える

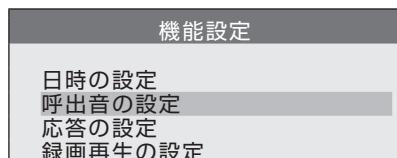
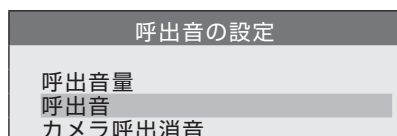
ドアホンや、別売のカメラからの呼出音を変更できます。

● 室内呼の呼出音は変えられません。

1 [機能] を押し、 で

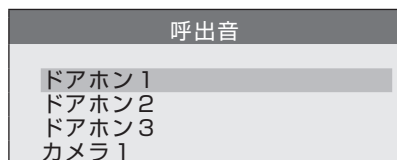
[呼出音の設定]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定

2 (決定) を押し、 で

[呼出音]を選ぶ

3 (決定) を押し、(上下) で呼出音を

変えたい機器を選ぶ

4 (決定) を押し、 で音を選ぶ

● 選んだ音が鳴る

●「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは１回のみ

5 (決定) を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、

[終　了] **を押す**

■ 呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」、ドアホン3「音3」、カメラ1～4「音A」

ドアホンからの呼出音			
音１	ピーンポーン	音4	ピンポーンピンポーン
音１繰り返し	ピーンポーン※	音4繰り返し	ピンポーンピンポーン※
音2	プルルルル…	音5	ポンピンパンポン
音2繰り返し	プルルルル…※	音5繰り返し	ポンピンパンポン※
音3	ポーンポーンポーン	音6	ピンパンピーピンパンピンポーン
音3繰り返し	ポーンポーンポーン※	音6繰り返し	ピンパンピーピンパンピンポーン※

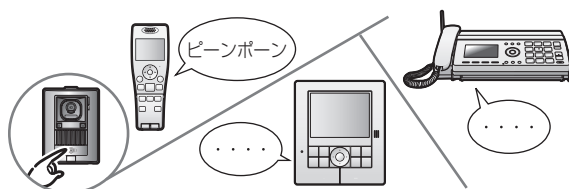
カメラからの呼出音			
音A	ピポッ	音C	ポーンポーン
音B	ポポポポポポ…	音D	ピーンポーン

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」「留守応答中の呼出音」は繰り返しません。

お好み設定

着信させるドアホンやカメラを指定する（鳴り分け）

ドアホン親機や子機に着信させたくないドアホンがあるときは、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

- ワイヤレスアダプター機能で接続した電話/ファクスに対しても、ドアホン着信の鳴り分け設定ができます。
- 別売のカメラをご使用の場合は、ドアホン親機と子機へのカメラ着信の鳴り分け設定もできます。

1 機能 を押し、 で[応答の設定]を選ぶ

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定

2 決定 を押し、上下キー で[鳴り分け]を選ぶ

応答の設定
- 音声応答
- 鳴り分け
- ボイスチェンジ

3 決定 を押し、上下キー で鳴り分けを設定する室内機器を選ぶ

電話/ファクスの場合はここを選ぶ

4 決定 を押し、 で着信させたくない機器を選ぶ

鳴り分け／親機
- ドアホン１
- ドアホン２
- ドアホン３
- カメラ１

5 決定 を押し、上下キー で[鳴らない]を選ぶ

6 決定 を押す

- 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、終 了 を押す

お知らせ

- 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンやカメラからも着信します。
  - ドアホンとの通話中（モニター中）またはカメラモニター中
  - 室内呼び出し中、室内通話中

機能設定一覧表

ドアホン親機で変更できる機能設定の一覧です。使いかたに合わせて変更してください。

- 変更のしかたはページ下にあります。
  ただし、一覧表中に（設定は☞ ○○ページ）とあるものは、参照先の手順に従ってください。
- 機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- □ のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要
日時の設定	ー	● 現在の日付・時刻を設定する（設定は☞ 19ページ）
呼出音の設定	呼出音量	ドアホン　：大、中、小、切 カメラ　　：大、中、小、切 室内呼　　：大、中、小 ● ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ（設定は☞ 41ページ）
	呼出音	● ドアホン親機で鳴る、ドアホンや別売のカメラからの呼出音の種類を選ぶ（設定は☞ 42ページ） 〈ドアホン１～3、カメラ１～4で個別に設定〉
	カメラ呼出消音	する、しない ●「する」を選ぶと、ドアホン親機とすべての子機（別売の増設モニター含む）で、カメラ呼出音が鳴らなくなる
応答の設定	音声応答	ON 、OFF ●「ON」にすると、ドアホンからの呼び出しや室内呼び出しに、［通 話］を押さずに「はーい」などの音声で応答できる（☞ 20ページ） • 音声応答設定後も、［通 話］を押して応答できます
	鳴り分け	鳴る、鳴らない　〈ドアホン1～3、カメラ1～4を個別に設定〉 ● 着信させたくないドアホンやカメラは「鳴らない」を選ぶ（設定は☞ 43ページ）
	ボイスチェンジ	通常、 低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる

設定を変更するとき

［機能］を押し、 で項目を選ぶ → を押し、 で機能名を選ぶ

（例）

機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定

呼出音の設定
- 呼出音量
- 呼出音
- カメラ呼出消音

項目	機能名	設定内容と概要
録画再生の設定	録画日時表示	常時、 3秒表示（画像1件につき、約3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に表示される録画日時欄や操作ガイドなどが約3秒後に自動で消える （表示直後）　（約3秒経過後）
	再生ランプ点滅	する、 しない ●「する」の場合、ドアホンや別売のカメラの新しい自動録画（未再生）があると点滅でお知らせする • 別売の増設モニターをご使用の場合、増設モニターの再生ランプもこの設定に連動します
	ドアホン録画数	1枚 、 8枚　〈ドアホン1～3の個別設定はできない〉 ● ドアホン録画1件あたりの画像枚数を選ぶ（☞ 24ページ） •「8枚」の場合は、「1枚」に比べて画質が粗くなります 画質を優先したいときは、「1枚」を選んでください
	録画開始時間	標準（約2秒）、遅い（約3秒）　〈ドアホン1～3の個別設定はできない〉 ● ドアホンの自動録画で、夜間などの映像が映りにくいとき「遅い」を選ぶ
	ドアホン自動録画	ON、OFF　〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ● 在宅自動録画（☞ 24ページ）をやめるときは、「OFF」を選ぶ **•「OFF」にしても、留守設定時は自動で留守録画する**

→ を押し、 で設定内容を選ぶ → を押す → 終わったら、 終　了 を押す

● 機能によっては、この操作を繰り返す

機能設定一覧表(つづき)

●変更のしかたはページ下にあります。
ただし、一覧表中に(設定は☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。

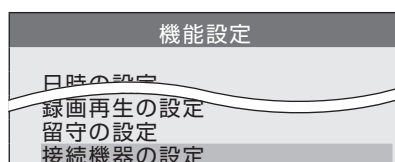
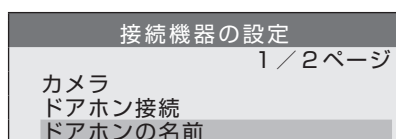
● のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要
録画再生の設定	録画件数振り分け	する、しない ●「する」を選ぶと、録画可能件数(最大100件)をドアホン画像用(最大60件)とカメラ画像用(最大40件)に分けることができる※ ※未再生画像があるときは設定できません(再生後に設定してください)
留守の設定	留守応答音量	大、中、小 〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ●留守応答時に、ドアホン側に流れる応答メッセージの音量を選ぶ
	自作応答録音	●留守応答時の応答メッセージを自分で作る(設定は☞ 28ページ)
	自作応答消去	はい、いいえ
接続機器の設定	カメラ	●別売のカメラに関する各種設定を行う (詳しい内容と設定は☞ 66～68ページ)
	ドアホン接続	ドアホン1:あり、自動判定、なし ドアホン2:あり、自動判定、なし ドアホン3:あり、自動判定、なし ●使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ
	ドアホンの名前	ドアホン番号(1～3) 〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ドアホン○、玄関、門、勝手口 ●設置場所に応じて、ドアホン1～3の名前を選ぶ (設定した名前は、次のときに表示されます) • ドアホン親機で、※ ドアホンの着信中/通話中/モニター中/録画再生中 • ドアホン親機や子機で、※ モニターボタンを押して、モニター先を選ぶとき ※別売の増設モニターをご使用の場合、ドアホン親機と同じ場面で上記の設定に応じた名前が表示されます

設定を変更するとき

機能 を押し、 で項目を選ぶ → を押し、 で機能名を選ぶ

(例)

機能設定
日時の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定

接続機器の設定
1/2ページ
カメラ
ドアホン接続
ドアホンの名前

項目	機能名	設定内容と概要
接続機器の設定	子機の名前	子機番号(1～6)　〈子機1～6を個別に設定〉 子機○、リビング、キッチン、子供部屋、寝室、洋室、和室、二階 ●設置場所に応じて、子機1～6の名前を選ぶ (設定した名前は、次のときにドアホン親機の画面にのみ表示されます) • 室内呼び出し(通話転送を含む)で 呼び出し先を選ぶとき/呼び出し中や着信中/通話中
	ドアホン照明 自動点灯	する、しない　〈ドアホン1～3を個別に設定〉 ●「する」の場合、ドアホン側が暗いときに下記の操作をすると、 自動的にドアホンのLEDライト(☞ 18ページ)が点灯する • ドアホン側で呼出ボタンが押されたとき • 室内からドアホンをモニターしたとき
	センサー入力	火災警報器、外部センサー、地震警報器、なし ●ドアホン親機のセンサー入力端子に接続する機器を選ぶ
	中継アンテナ	●中継する子機(1～6)を変更できる〈中継アンテナ1～2で個別に設定〉 (登録している子機しか選べません)
	A接点出力	ON、OFF　〈ドアホン1～3、カメラ1～4を個別に設定〉 ●ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器(光るチャイムなど)は、設定を「ON」にしたドアホンやカメラの呼び出しに連動する(設定は☞ 53ページ)
	外部機器 ボタン	電気錠、機器、なし　〈外部機器1～2を個別に設定〉 ●ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作する機器を選ぶ (設定は☞ 54ページ)
	ＡＶ機器	●テレビやレコーダーを接続してご使用の場合に、登録機器の詳細情報を確認できる(設定は☞ 74ページ)

を押し、
で設定内容を選ぶ →
決定 を押す → 終わったら、
を押す

●機能によっては、この操作を繰り返す

機能設定一覧表（つづき）

● 変更のしかたはページ下にあります。
ただし、一覧表中に（設定は ☞ ○○ページ）とあるものは、参照先の手順に従ってください。

● [　　] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要
登録／減設（削除）	登録	● 各機器の登録（増設）/減設（削除）をする • 子機/増設モニター（設定は ☞ 76、77、80ページ） • カメラ（設定は ☞ 61、80ページ） • 中継アンテナ（設定は ☞ 79、80ページ） • ワイヤレスアダプター機能に対応した電話/ファクス（設定は ☞ 56、58ページ） • テレビやレコーダー（設定は ☞ 70、72、75ページ）
	減設（削除）	
その他の設定	画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去、[戻る] ● 保護画像も含めてすべての画像を消去するときは、「すべての画像を消去」を選ぶ
	みえます ねっとLite	●「みえますねっとLite」サービスに関する各種設定を行う（詳しい内容と設定は ☞ 34～37ページ）
	ネットワーク情報	● ドアホン親機のIPアドレスやMACアドレスなど、ネットワークに関する情報を確認できる ● ドアホン親機とカメラ/テレビ/レコーダーの接続に異常があるときは、異常の内容も表示される（☞ 101ページ）
	設定の初期化	設定の初期化 ＋ 全画像を消去、設定の初期化のみ、[戻る] ● ドアホン親機の設定をお買い上げ時の状態に戻すとき、どちらかを選ぶ（廃棄・譲渡・返却するときは、「設定の初期化＋全画像を消去」を選ぶ） ● 設定の初期化をしても、下記の項目は初期化されません •「接続機器の設定」内にある、「カメラ」と「中継アンテナ」の設定 •「その他の設定」内にある、「みえますねっとLite」の設定 • ドアホン親機に登録した、子機/増設モニター、カメラ、中継アンテナ、ワイヤレスアダプター機能の登録情報（テレビやレコーダーの登録情報は初期化されます） ● 火災警報器などを接続してご使用の場合、初期化をすると、センサー履歴（☞ 52ページ）の情報も消去されます

設定を変更するとき

[機能] を押し、 で項目を選ぶ → [決定] を押し、 で機能名を選ぶ

（例）

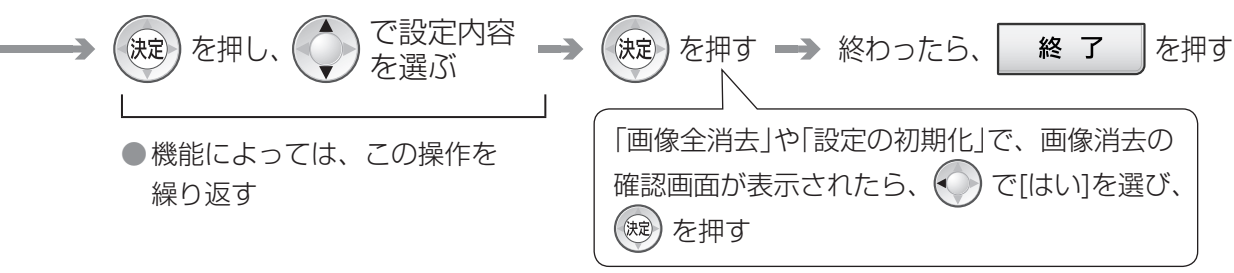
機能設定
日時の設定
呼出音の設定
登録／減設（削除）
その他の設定

その他の設定
画像全消去
みえますねっとLite
ネットワーク情報

項目	機能名	設定内容と概要
その他の設定	モード切替	**通常は使わないでください** **展示モード**(店頭販売時の展示用などに使うモード) 音声なし、音声なし + ドアホン自動呼出、 音声あり + ドアホン自動呼出、しない **PCモード**(パソコンで本機のIPアドレスを変更するためのモード) 詳しい内容と設定は、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html) を参照してください。
	操作ガイド表示	する、しない ●着信中・モニター中の操作ガイドを表示するかしないかを選ぶ 「する」のとき ドアホン1 通話 来客と話す 「しない」のとき ドアホン1

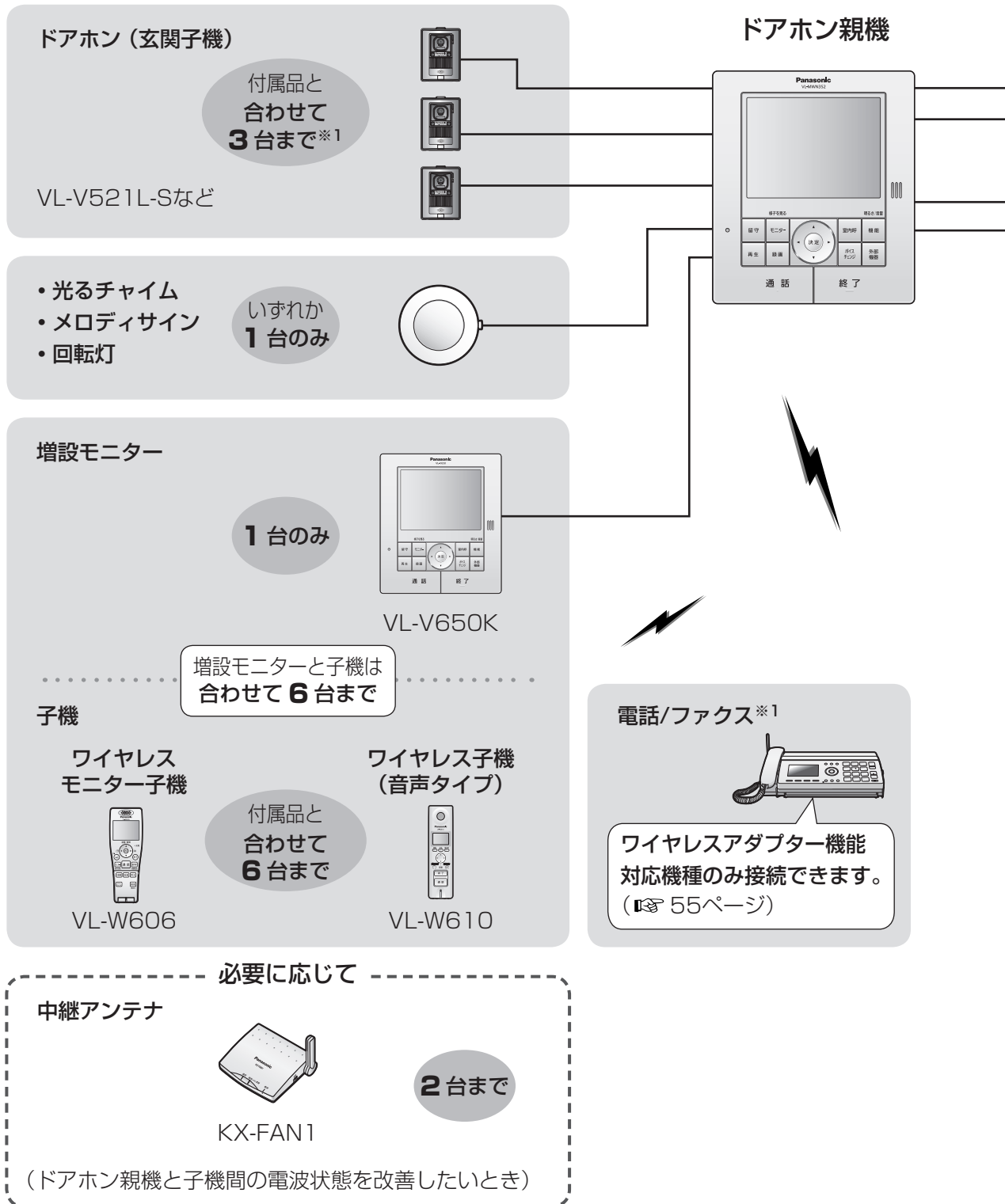
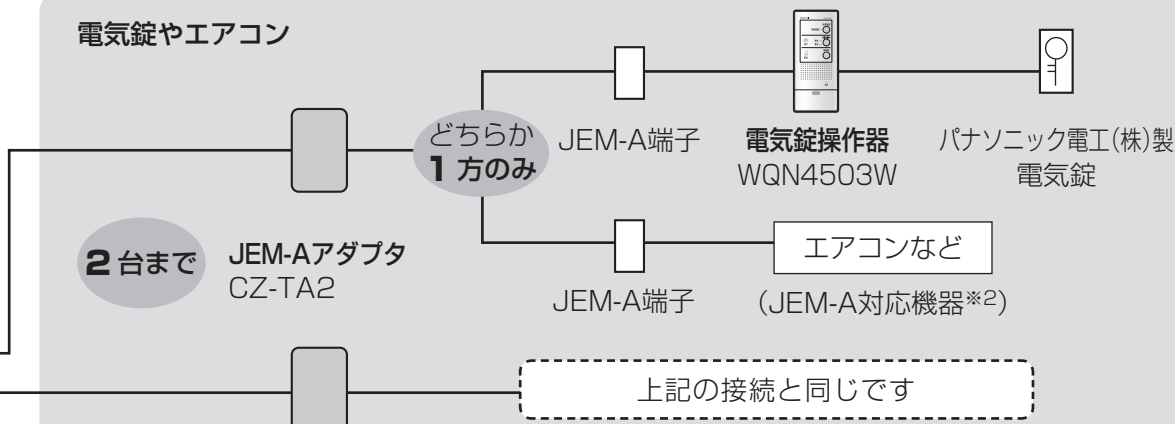
→ を押し、 で設定内容を選ぶ →   を押す → 終わったら、終 了 を押す

●機能によっては、この操作を繰り返す

「画像全消去」や「設定の初期化」で、画像消去の確認画面が表示されたら、 で[はい]を選び、決定 を押す

こんな機器の増設・連携ができます（システム構成図）

ドアホン親機に下記の機器を接続／登録して、さらに使いやすいシステムにできます。

● 下記の配線はイメージです。ドアホン親機との配線の詳細は工事説明書をお読みください。
また、接続する機器の設置や使いかたは、それぞれの機器の説明書をお読みください。

● **増設できる別売品や推奨品の一覧は（☞ 84ページ）**

火災警報器や外部センサーなど

火災警報器〈連動型/単独型(移報接点付き)〉

例) 連動型の場合：接続には移報接点アダプタ(SH2890)が必要です。

移報接点アダプタ ―― 連動型の火災警報器(最大**14**台まで) ※3

- 単独型(移報接点付き)の場合、移報接点アダプタは不要です。
  (ドアホン親機との並列接続で、**最大15台まで**)

いずれか **1** 種類のみ

外部センサー　例) MAMORIE ワイヤレスセキュリティ受信器 パナソニック電工(株)製

地震警報器　例) 緊急地震速報受信装置 デジタルなまず (株)3Softジャパン製

※4

レコーダー (ディーガ)
- 対応機種(☞ 69ページ)

1 台のみ

※1 **電話/ファクスと連携してご使用の場合、電話/ファクスでは、3台目のドアホンとの通話はできません。(呼出音も鳴りません)**

※2 (社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

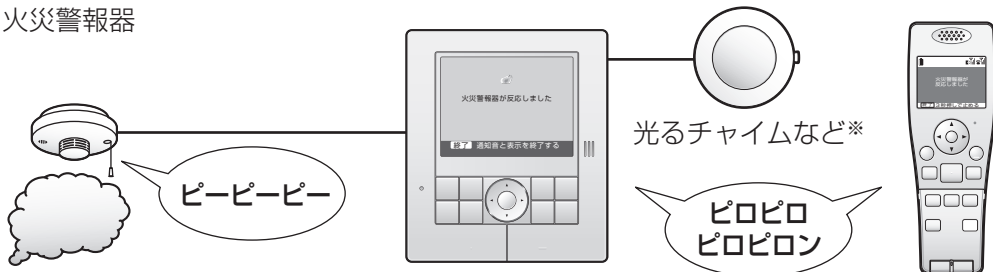
※3 接続できる連動型の火災警報器については、移報接点アダプタの説明書をご覧ください。

※4 市販のLANケーブルやハブで接続します。接続の詳細は(☞ 59ページ)

火災警報器などを接続して使う

火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続したときは、ドアホン親機で**接続機器の設定(☞47ページ「センサー入力」)が必要です。**設定すると、接続機器が反応したとき、ドアホン親機や子機にも下記のように通知されます。

● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

接続機器が反応すると、通知音(最大音量)と画面表示でお知らせします

※光るチャイムやメロディサインなどを接続時は、本機に連動します。

● 接続機器が反応を終了するか、または最大3分経過すると、自動的に通知音と画面表示も終了します。

■通知音と画面表示をすぐに終了したいとき(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

〈ドアホン親機〉 [終了] を押す
〈子　機〉 (終了) を約3秒間押す

どちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

■通知音と画面表示について

接続機器	通知音(音量は固定)	画面表示
火災警報器	ピロピロピロピロン	火災警報器が反応しました
外部センサー	プルルルプルルル	外部センサーが反応しました
地震警報器	ピロピロピ・ピロピロピ	地震速報を受信しました

ドアホン親機でセンサー履歴を見る

通知日時の最新情報を6件まで、ドアホン親機に記憶しています。

① 待ち受け中に (決定) を押し、(▼) を押す

センサー履歴
2009/ 7/25 18:22 火災警報器
2009/ 7/21 5:48 火災警報器

② 終わったら、[終了] を押す

お願い

● 接続機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

● 通話中、接続機器が反応すると、通話が切れて上記の通知音が鳴ります。
- 子機で通話中に、接続機器が反応したときの動作については(☞「子機編」58ページ)

● 通知終了後も接続機器で反応が続いていると、「通話」「モニター」「着信」などの終了時に、上記の画面が約3秒間表示されます。(ドアホン親機のみ)

光るチャイムやメロディサインなどを接続して使う

光るチャイム、メロディサイン、回転灯は、下記の場合にドアホン親機に連動します。

- ドアホンや別売のカメラから呼び出しがあったとき
  ➔ 設定により、連動させるドアホンやカメラを指定できます。(☞ 下記)
- 火災警報器や外部センサー、地震警報器が反応したとき(☞ 52ページ)
  ➔ 常に連動します。設定で連動をやめることはできません。

●接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

● 光るチャイムやメロディサインなどを連動させる機器を指定する(A接点出力) ●

連動させたくないドアホンやカメラの設定を「OFF」にしてください。

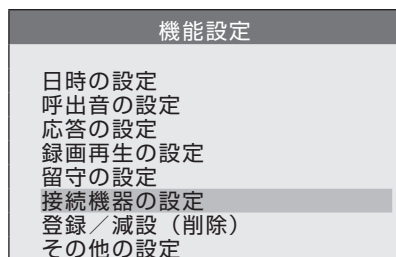
●お買い上げ時の設定：すべて「ON」

1 を押し、 で

[接続機器の設定]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）
その他の設定

2 を押し、で

[A接点出力]を選ぶ

3   を押し、で

連動させたくない機器を選ぶ

4 を押し、 で

[OFF]を選ぶ

5 を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 終わったら、

終了 を押す

電気錠やエアコンなどを接続して使う

接続した機器を、ドアホン親機や子機の外部機器ボタンで操作できます。（最大2台まで）
接続後、下記の設定で、操作する機器を登録してください。
● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

外部機器ボタンの設定

● お買い上げ時の設定：「なし」（未登録）

1 機能 を押し、 で
[接続機器の設定]を選ぶ

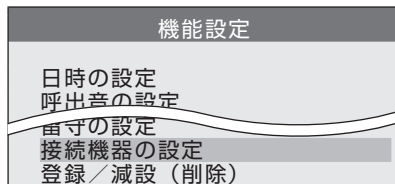
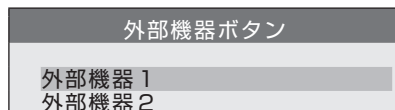
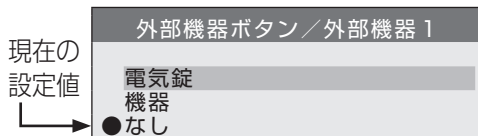
2 決定 を押し、 で
[外部機器ボタン]を選ぶ

3 決定 を押し、 で登録先の
機器番号を選ぶ

外部機器ボタン
外部機器 1
外部機器 2

4 決定 を押し、 で選ぶ

外部機器ボタン／外部機器 1
電気錠
機器
●なし

現在の設定値

「電気錠」：電気錠の施錠/解錠
「機器」　：エアコンなどの機器のON/OFF

5 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

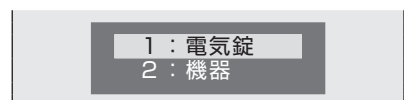
6 終わったら、
終 了 を押す

ドアホン親機で外部機器を操作する

1 施錠/解錠（またはON/OFF）したいときに
外部機器 を押す

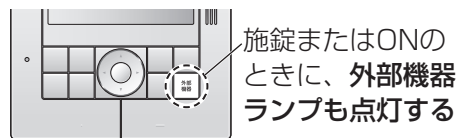
外部機器が2台あるとき

1：電気錠
2：機器

 でどちらかを選び、決定 を押す

（例）
■外部機器1を施錠またはONにしたとき

■外部機器1を解錠またはOFFにしたとき

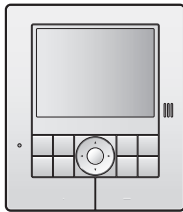
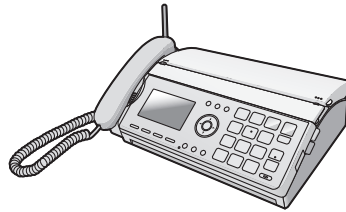
外部機器が1台しかないとき

施錠またはONのときに、**外部機器ランプも点灯する**

お知らせ

● 子機で操作するとき（☞「子機編」59ページ）
● 機器の施錠/解錠（またはON/OFF）状態は情報表示画面で確認できます。
（☞ 82ページ）

電話/ファクスを接続して使う

ワイヤレスアダプター機能対応の電話/ファクスを無線で接続できます。**（1台のみ）**
接続すると、電話/ファクスでもドアホンとの通話ができます。
● ワイヤレスアダプター機能での接続設定が必要です。（☞ 56、57ページ）

接続できる電話/ファクスについて

ドアホン親機

電話/ファクス親機

■ ワイヤレスアダプター機能対応機種（パナソニック製品：2009年6月現在）

● コードレス電話機

品番	VE-GP10、VE-GP20、VE-GP22、VE-GP24※、VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP33、VE-GP50、VE-GP51、 VE-GP52、VE-GP53、VE-GP62、VE-SV08 シリーズ

● パーソナルファクス

品番	KX-PW211、KX-PW308、KX-PW506、KX-PW507、KX-PW508、KX-PW605、KX-PW606、KX-PW607、KX-PW608、KX-PW616 シリーズ

※ VE-GP24TAは除く

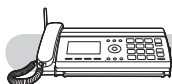
お知らせ

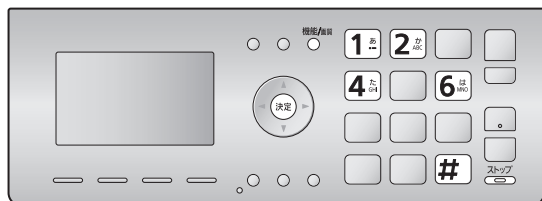
● **ドアホンアダプター(VE-DA10-H)での接続はできません。**
● 電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機と電話/ファクス間では、内線通話やドアホン通話の転送はできません。
● 接続後の使いかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話/ファクスを接続して使う（つづき）

ワイヤレスアダプター機能で接続設定をする

ドアホン親機と電話/ファクス親機間で、ワイヤレスアダプターの設定（増設）が必要です。
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW508の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。（機種によっては子機で操作する場合もあります）

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW508）

1 電話機コードを抜く

● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ（電話機は[取消]ボタン）で表示を消してください

2 機能/画質 を押し、

 # 1 6 4 を押す

ワイヤレスアダプター設定

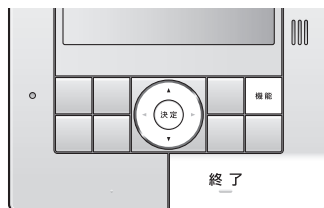
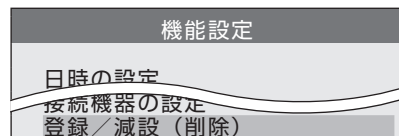
3 （決定）を押す

減設＝1
増設＝2

4 2 を押す

ドアホン親機を
操作してください

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する

ドアホン親機の操作

5 機能 を押し、 で[登録/減設(削除)]を選ぶ

6 決定 を押し、 で[登録]を選ぶ

7 決定 を押し、 で[ワイヤレスアダプター機能]を選ぶ

8 決定 を押す

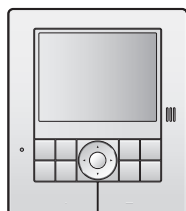
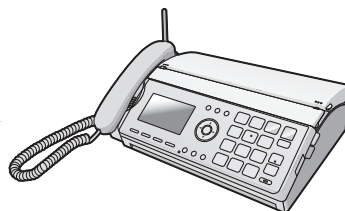
● 登録が完了すると、「登録完了」と表示される
● 登録が終わったら、 終了 を押す

登録後に必ず行ってください

■ドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
（一度押さないとドアホンに呼びかけられない）
■電話機コードを接続する（電話/ファクス親機）
■設置場所で電波を確認する（☞ 82ページ ①）

お知らせ

● 手順6のあと設定が完了するまでは、ドアホンからの呼び出しを受けられません。
● 電話/ファクス親機に「プロトコルエラー」と表示され、手順3の画面に戻ったとき
➔ 手順4からやり直してください。
● ドアホン親機に「登録できません」が表示されたとき（☞ 99ページ）

ワイヤレスアダプター機能で接続設定をする（つづき）

ドアホン親機と電話/ファクス親機間の通信には電波を使うため、電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください

- 親機同士の電波は、2.4～2.4835 GHzを使用します。
  電子レンジなど、同じ電波を使用する機器が近くにあると、電波の干渉を受けることがあります。（☞ 13ページ）
- ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。

ドアホン親機との距離が離れていたり、100 m以内でも別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがあるとき（☞ 12ページ）は、電波が弱くなり、電話/ファクスでのドアホン通話ができないことがあります。
また、付属の子機を電話/ファクス親機に登録しても、子機の電話機能が使えないことがあります。

ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。

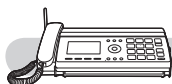
お知らせ

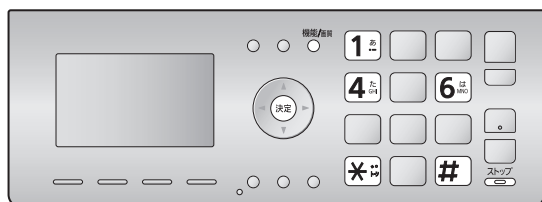
- ワイヤレスアダプター機能を使うときは中継アンテナの登録が制限されます。
  （☞ 78ページ）

電話/ファクスを接続して使う（つづき）

ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるとき（減設）

電話/ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW508の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。（機種によっては子機で操作する場合もあります）

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW508）

1 機能/画質 を押し、

\# 1 6 4 を押す

ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ設定

2 (決定)を押す

減設=1
増設=2

3 1 を押し、＊ を押す

ﾄﾞｱﾎﾝを
減設しました

4 ストップ を押す

● 電話機は［取消］ボタンを押す

ドアホン親機の操作

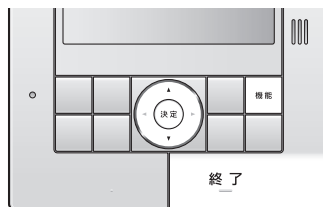
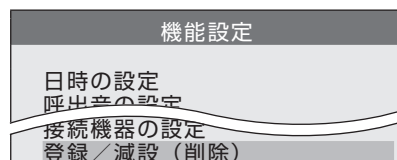
5 機能 を押し、 で

［登録/減設（削除）］を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

6 決定 を押し、 で［減設（削除）］

を選ぶ

7 決定 を押し、 で

［ワイヤレスアダプター機能解除］

を選ぶ

8 決定 を押す

9 終わったら、

終 了 を押す

カメラ・テレビ・レコーダーを接続するとき

各機器を使うには、ドアホン親機への接続と登録操作が必要です。

- **ご利用までの流れ(カメラは60ページ、テレビ/レコーダーは69ページ)を確認のうえ、接続や登録を行ってください。**
- 下図は接続例です。〔　〕内の台数は、ドアホン親機と連携できる最大の台数です。

ドアホン親機

ドアホン親機背面

LAN端子へ

LANケーブル

■ カメラを接続する場合

送電装置
(カメラに付属)

この間の接続については
カメラの説明書をお読み
ください。

カメラ

LAN端子へ

〔4台まで〕

■ テレビを接続する場合

LAN端子へ

LAN端子へ

〔2台まで〕

ハブ

■ レコーダーを接続する場合

LAN端子へ

〔1台のみ〕

LAN
ケーブル

LANケーブル

インターネットに接続している場合

LAN端子へ

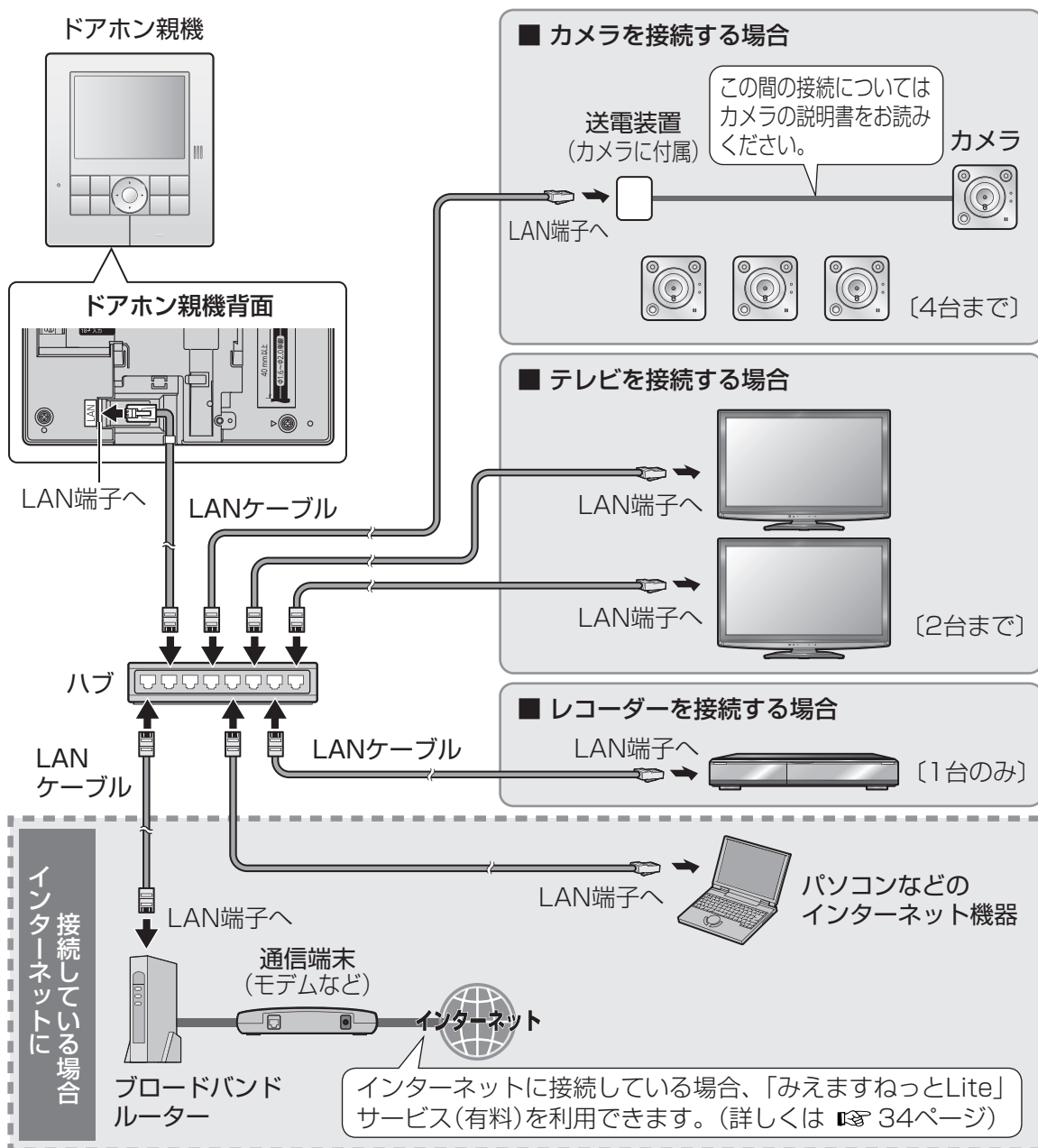
LAN端子へ

パソコンなどの
インターネット機器

通信端末
(モデムなど)

インターネット

ブロードバンド
ルーター

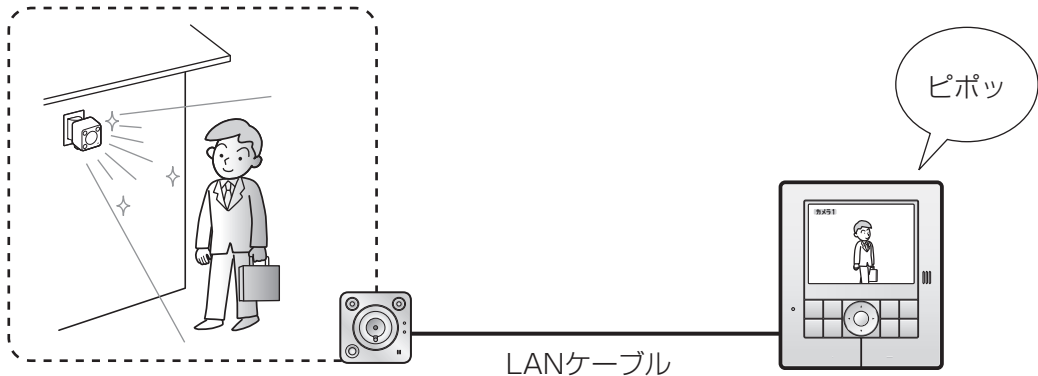
インターネットに接続している場合、「みえますねっとLite」サービス(有料)を利用できます。(詳しくは ☞ 34ページ)

お知らせ

- 設置済みのドアホン親機に接続する場合は、ドアホン親機を壁掛け金具から取り外す必要があります。(取り外しかた☞ 工事説明書)
- LANケーブルは市販品(ストレートケーブル)をお使いください。
- ドアホン親機に連携させる機器が1台しかないときは、ドアホン親機と連携機器をLANケーブル(クロスケーブル)で直接接続できます。

カメラを使う

接続したカメラのセンサーが反応すると、ドアホン親機や子機に呼出音と映像でお知らせします。また、カメラ側が気になるときに映像を確認したり、映像の録画もできます。

- 「みえますねっとLite」サービス（有料）を利用して、携帯電話でカメラの画像（静止画）を見ることもできます。（☞ 34ページ）

例）センサー反応時

- カメラを2台以上接続する場合は、別途ハブが必要です。

■ **接続できるカメラ**（パナソニック製品：2009年6月現在）

センサーカメラ

品番
（屋外タイプ） VL-CM140、VL-CM140KT、VL-CM160※、VL-CM160KT※、VL-CM240、VL-CM260※
（屋内タイプ） VL-CM100、VL-CM210

※ ライト付き

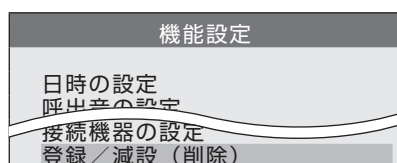
カメラを利用するまでの流れ

1	**接続例を確認し、ドアホン親機と仮接続する** ● カメラ側の説明書もお読みください。 ● 接続は、カメラの電源を切った状態で行ってください。	☞ 59ページ
2	**ドアホン親機にカメラを登録する**	☞ 61ページ
3	**ドアホン親機にカメラの映像が映るかを確認する（カメラモニターの操作をする）**	☞ 63ページ
4	**カメラの設置場所で配線や設置を行う**	☞ カメラ側の説明書

ドアホン親機にカメラを登録する

接続が終わったらカメラの電源を入れ、1分以上経過してから下記の操作で登録してください。
- 登録できるカメラは4台まで。
- 同時に複数のカメラを登録することはできません。1台ずつ登録してください。
- カメラの操作はVL-CM260の例です。機種によっては操作が異なる場合もありますので、お使いのカメラの説明書もあわせてお読みください。

ドアホン親機の操作

1 を押し、 で
[登録/減設(削除)]を選ぶ

2 決定 を押し、 で
[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、 で
[カメラ]を選ぶ

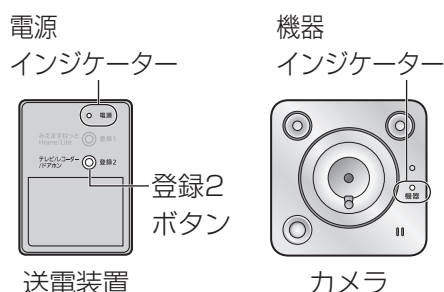
4 決定 を押し、 で
登録するカメラ番号を選ぶ

5 決定 を押す

続けて、約10分以内にカメラの操作をする

カメラの操作〈登録モードにする〉

6 カメラを登録モードにするため、送電装置の登録2ボタンを約1秒以上押す

- 登録モードになると、送電装置の電源インジケーターやカメラの機器インジケーターがオレンジ点滅する(約5分間)
  ※オレンジ点滅するまで、約1分程度かかることもあります

- 上記インジケーターのどちらかでオレンジ点滅し始めたことを確認してから、約5分以内に手順7の操作をしてください

ドアホン親機の操作

7 で[次へ]を選び、 決定 を押す

- 登録が完了すると、「登録完了」と表示される

8 終わったら、 終 了 を押す

お知らせ
- カメラが登録モードになっている間(約5分間)は、センサー検知がはたらきません。
  (詳細は、カメラの説明書で「登録モード/通常モード」の説明をお読みください)

カメラの映像を見る

カメラのセンサーが反応したとき

1
センサーが反応すると

呼出音が鳴り、カメラの映像が映る

- 映像は、約30秒で自動的に終了する
- もっと見たいとき ➔ 手順2へ

2
モニター を押す

- カメラの映像が、約90秒間表示される
  （カメラにマイクが付いていても、カメラ側の周囲音は聞こえません また、こちらの声もカメラ側には聞こえません）
- モニターを途中でやめるには、
  終了 を押す

モニター中の機能

■画面の明るさを変える

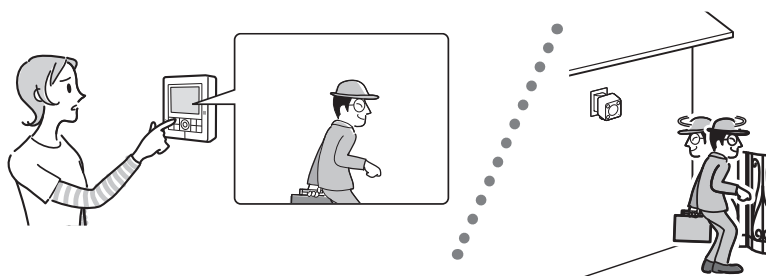
明るさ/音量 機能 を押す➔ ◁▷ で変更

■表示中の映像を録画する

録画 を押す

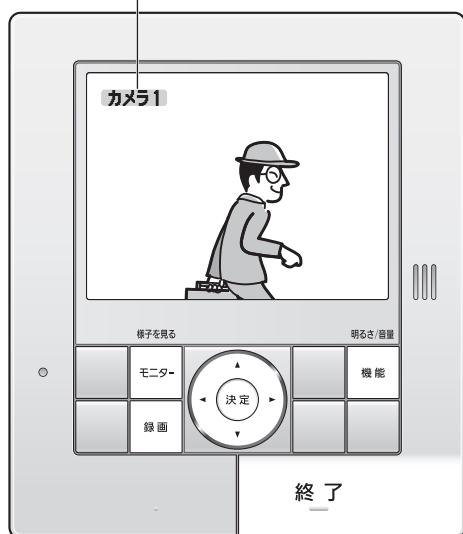
お知らせ

- **センサー反応時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 64ページ）**
- **一度センサーが反応すると、約60秒間は次の反応を行いません。（秒数は、カメラの機種や設定によって変わることがあります）**
- **センサーが反応しても、呼出音を鳴らさないようにしたいとき（3つの方法があります）**
  - 41ページの設定で、カメラの「呼出音量」を「切」にする
    ➔設定したドアホン親機だけ、呼出音が鳴らなくなります。
  - 44ページの設定で、「カメラ呼出消音」の設定をする
    ➔ドアホン親機やすべての子機で、呼出音が鳴らなくなります。
  - 43ページの設定で、「鳴り分け」設定をする
    ➔カメラ着信（呼出音や映像表示）をやめることができます。
- **夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ設定」や「逆光補正」で設定を変更してください。（☞ 67ページ）**
- **モニター中に別の呼び出しがあったとき（☞ 81ページ）**

カメラ側の様子を見る(カメラモニター)

モニター中のカメラ

モニター中の機能

■画面の明るさを変える

明るさ/音量 機能 を押す➔ で変更

■表示中の映像を録画する

録画 を押す

1 モニター を押し、◎ でモニターしたいカメラを選ぶ

ドアホン1
ドアホン2
ドアホン3
カメラ1
カメラ2

2 決定 を押す

- 選択したカメラの映像が、約90秒間表示される

  (カメラにマイクが付いていても、カメラ側の周囲音は聞こえません また、こちらの声もカメラ側には聞こえません)

- モニターを途中でやめるには、

  終 了 を押す

お知らせ

- 夜間や逆光などでカメラの映像が見えにくいときは、カメラの機能設定の「明るさ設定」や「逆光補正」で設定を変更してください。(☞ 67ページ)
- モニター中に別の呼び出しがあったとき(☞ 81ページ)

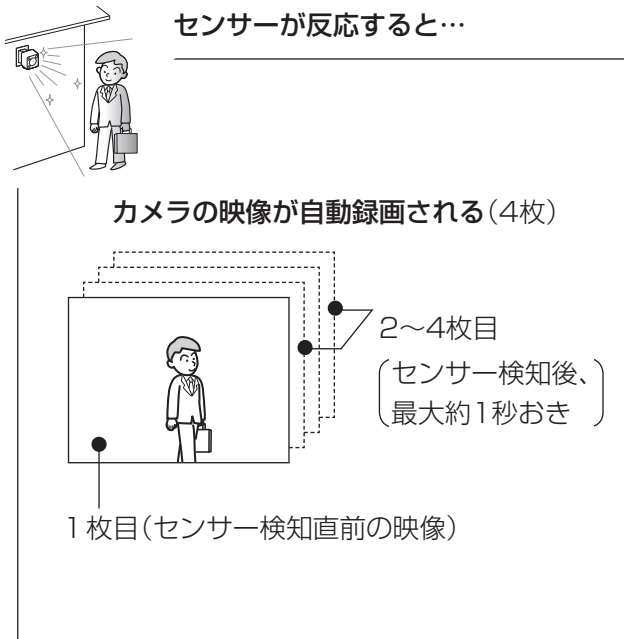
カメラ映像の録画について

ドアホン映像と合わせて最大100件まで、ドアホン親機に録画できます。

● カメラの場合、１件あたりの録画枚数は4枚(固定)です。

● 画像の再生・保護・消去のしかたは、ドアホン画像と同じです。(☞ 30～32ページ)

センサー反応時の自動録画

センサー反応時のカメラ映像は、下記のように自動で録画されます。

録画した画像は未再生画像となり、下記のようにお知らせします

■在宅時(留守未設定時)

再生 (再生は☞ 30ページ)

● 子機は、待ち受け画面に [アイコン] が表示されます。

■留守設定時

留守 留守録画として記録され、留守解除時に再生される(☞ 26ページ)

● 子機は、待ち受け画面に

が表示されます。

お知らせ

● 在宅(留守未設定)の場合、センサー反応時の映像表示中に モニター を押してモニターすると、録画した画像は再生済み扱いになります。

● 通話中やモニター中に別のカメラのセンサーが反応したとき(☞ 81ページ)は、モニター を押して反応したカメラの映像を表示しないと録画されません。

● カメラ映像を４枚録画中に別の機器から呼び出しがあると、録画が中断され、１件あたりの録画枚数が少なくなることがあります。(最低１枚は録画されます)

● 自動録画しないように設定することもできます。
➔ ドアホン親機の機能設定で、カメラの「センサー選択」を「録画OFF」にする(☞ 66ページ)

録画件数をドアホン画像とカメラ画像に振り分けて使う(録画件数振り分け)

録画したカメラの画像はドアホン画像と一緒にドアホン親機に記録され、2つの画像の合計が100件になると、新しい録画の際、画像の種類にかかわらず古い画像から自動的に消去されます。(画像の自動更新について詳細は☞ 29ページ)

46ページの「録画件数振り分け」の設定を「する」にしておくと、録画可能件数(最大100件)をドアホン画像用(60件)とカメラ画像用(40件)に分けることができるので、それぞれの画像ごとに自動更新ができるようになります。

映像を手動で録画する

着信中やモニター中のカメラ映像を、必要に応じて録画できます。

1 映像表示中、録画をしたいときに

録画 を押す

● 最大約1秒おきの映像を4枚録画する

● 録画中に表示され、終了すると消える

お知らせ

● 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。（再生は☞ 30ページ）

■振り分け設定をしたときの自動更新例

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）

使いかたに合わせて、カメラの機能を変更できます。

●変更のしかたはページ下にあります。

●機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

接続できるカメラ（☞ 60ページ）のうち、機種によっては「動作検知範囲」「電源投入時の登録モード」など一部の機能設定ができません。（カメラ側に機能がないため）
また、接続できるカメラが増えた場合、設定できない機能も増えることがあります。
設定できる機能や各機能の詳細などは、お使いのカメラの説明書をお読みください。

●［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
センサー選択	［人感（熱）＋動作検知　録画 ON］、人感（熱）＋動作検知　録画 OFF、外部入力　録画 ON、外部入力　録画 OFF、OFF（センサー反応しない） ●センサー反応の種別〔人感（熱）センサー＋動作検知/外部入力〕とセンサー反応時の自動録画の有無（ON/OFF）を選ぶ ・カメラのセンサーを使わず、カメラ側に別のセンサーなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ （接続できる機器については、カメラの説明書をお読みください） ・**「録画 OFF」を選ぶと、在宅時も留守設定時も、センサー反応時のカメラ映像は自動録画されません（☞ 64ページ）**
人感（熱）センサー感度	高感度、［標準］、低感度、超低感度、検知しない ●反応しにくいときは「高感度」、反応しすぎるときは、「低感度」や「超低感度」を選ぶ
動作検知感度	高感度、［標準］、低感度、超低感度 ●小さな動作も検知したいときは「高感度」、過度に検知したくないときは「低感度」や「超低感度」を選ぶ

設定を変更するとき

を押し、 で［接続機器の設定］を選ぶ ➔

を押し、 で［カメラ］を選ぶ

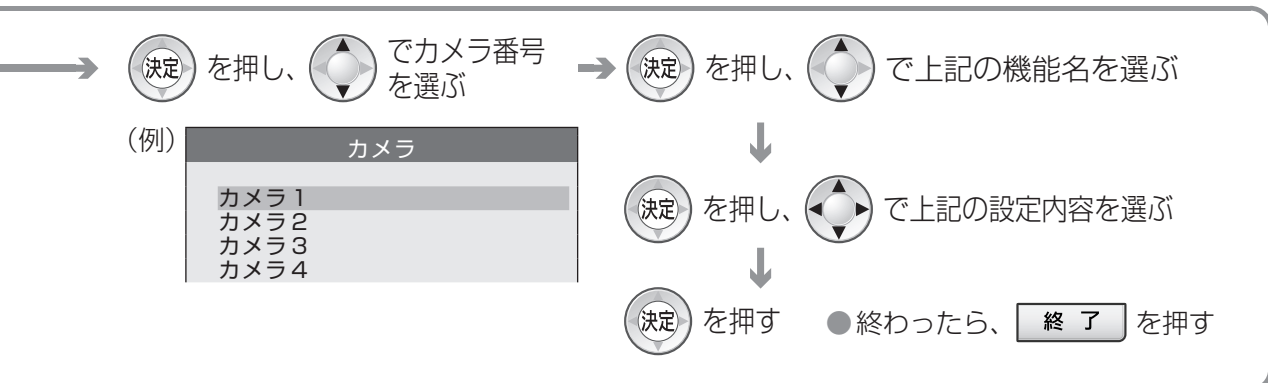
機能設定
- 日時の設定
- 呼出音の設定
- 応答の設定
- 録画再生の設定
- 留守の設定
- 接続機器の設定

接続機器の設定
1／2ページ
- カメラ
- ドアホン接続
- ドアホンの名前
- 子機の名前

● のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要
動作検知範囲 VL-CM210は設定できません※	●動作を検知する範囲(領域)を選ぶ(「●」の付いた領域を検知します) 動作検知範囲 ●が付いた範囲を検知します ● 左上 ○ 上 ● 右上 ○ 左 ● 中央 ○ 右 ● 左下 ● 下 ● 右下 [確定] [中止] 移動 選択/解除 画面の範囲はイメージで実際の検知範囲とは異なります。設定後にカメラ映像を見ながら確認してください。 • 検知させたくない領域があるときは、下記の手順で「●」を「○」にする ① で領域を選ぶ ② 決定 を押す (押すごとに「●」と「○」が切り替わる) ③ 必要に応じて①～②を繰り返す ④ 終わったら、 で[確定]を選び、決定 を押す
カメラ調整モード	通常は「OFF」にしておいてください ON(カメラ設置調整用)、OFF(通常) ●カメラを設置するときなど、カメラのセンサー検知範囲を確認するときに、「ON」を選ぶ •「ON」を選ぶと、センサー検知してもドアホン親機や子機への通知(呼出音と映像表示)がされなくなります ➔**カメラの調整が終わったら、必ず「OFF」に戻してください**
明るさ設定	(映像が暗くなる) −4、−3、−2、−1、0(標準)、+1、+2、+3、+4 (映像が明るくなる) ●カメラ映像の明るさを調整する
逆光補正	ON、OFF ●逆光補正をするときは、「ON」を選ぶ

※2009年6月現在のものです。設定できない機種は増えることがありますので、お使いのカメラの説明書でご確認ください。

決定 を押し、 でカメラ番号を選ぶ ➔ 決定 を押し、 で上記の機能名を選ぶ

カメラの機能を変える（機能設定一覧表）（つづき）

● [ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

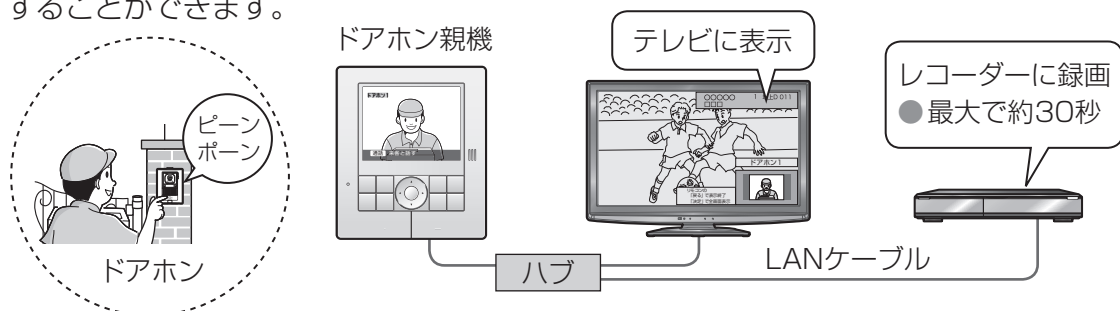
機能名	設定内容と概要
照明 ライト付きのカメラのみ設定できます	自動点灯★1、[検知＋モニター]★2、検知＋モニター（暗いとき）★3、消灯★4 ● ライト付きのカメラの場合に、ライトを点灯させる条件を選ぶ ★1：カメラの「明るさセンサー」で明るさを検知し、暗くなると自動的に点灯する ★2：センサー検知やモニター時に、明るさに関係なく点灯する ★3：センサー検知やモニター時に、カメラ周辺が暗いと点灯する ★4：常時消灯 **VL-CM160シリーズ以外のライト付きカメラをご使用の場合は、設定内容や動作について、お使いのカメラの説明書をお読みください**
カメラ登録モード入	登録モードにする、通常モードにする、[戻る] ● カメラを一時的に登録モードにすることができる（カメラをテレビなどのほかの機器に登録したいときに使う） •「登録モードにする」を選ぶと、約5分間登録モードになり、5分後に通常モードに戻る
電源投入時の登録モード VL-CM100/140/160シリーズのみ設定できます ※	[する]、しない ● カメラの電源を入れたときや再起動時に、カメラが登録モードにならないようにしたいときは「しない」を選ぶ • カメラの登録が終わったら、「しない」に設定して登録モードにならないようにすることをお勧めします
カメラ詳細情報	● カメラの機器名、型番、モデル名、製造元、MACアドレスを確認できる ● ドアホン親機とカメラの接続に異常があるときは、機器の状況（異常の内容）も表示される（☞ 101ページ）
カメラアドレス	● カメラのIPアドレス、自己診断情報、ステータス情報を確認できる
みえますねっとLite	● カメラで「みえますねっとLite」サービスを利用するときに使う（詳しい内容と設定は☞ 34、38～40ページ）
カメラ検知履歴	● センサーの検知履歴（最大20件）を確認できる
カメラ再起動	はい、[いいえ] ● カメラを再起動させるときは、「はい」を選ぶ
設定と登録のリセット	はい、[いいえ] ● カメラの設定内容と登録情報をリセットし、お買い上げ時の状態に戻す • ドアホン親機からカメラの登録も解除されます

● 設定変更の手順については（☞ 66ページ「設定を変更するとき」）

※上記の機種以外は、電源を入れたときや再起動時に登録モードになることはありません。

テレビやレコーダーを使う

ドアホン親機に接続すると、ドアホンの映像をテレビに表示したり、レコーダーに録画することができます。

ハブ　LANケーブル

● ドアホン親機に複数の機器を接続するときは、別途ハブが必要です。

■ 接続できるテレビ／レコーダー（パナソニック製品：2009年6月現在）

●**テレビ**（ビエラ：デジタルハイビジョンテレビ）

品番：X1シリーズ、Z1シリーズ、V1シリーズ、G1シリーズ、C1シリーズ、F1シリーズ、PZR900シリーズ、PZ800シリーズ、PZ750シリーズ、※ PZ85シリーズ、PZ80シリーズ、LZ85シリーズ、LZ80シリーズ、PX80シリーズ、LX80シリーズ、LX8シリーズ

●**レコーダー**（ディーガ：ブルーレイディスクレコーダー/DVDレコーダー）

品番：DMR-BW950、DMR-BW850、DMR-BW750、DMR-BW930、DMR-BW830、DMR-BW730、DMR-XW320、DMR-XW120

DMR-BW900、DMR-BW800、 DMR-BW700、DMR-XW300、DMR-XW200V、DMR-XW100 ※

※ 網掛け部の機種は、別売のカメラとは接続（連携）できません。別売のカメラもテレビ/レコーダーと連携させたいときは、網掛け部以外の機種をご使用ください。

お知らせ

● 接続できる機器についての最新情報は、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/cs/faq/tvdfon/faq_la.html）を参照してください。
● 本書で使用しているテレビのイラストはTH-L32X1、レコーダーのイラストはDMW-BW950を代表として記載しています。

テレビやレコーダーを利用するまでの流れ

1	**接続例を確認し、ドアホン親機と接続する** ●テレビやレコーダー側の接続についての詳細は、それぞれお使いの機器の取扱説明書をお読みください。	☞ 59ページ
2	**■ドアホン親機をテレビに登録する** **■ドアホン親機をレコーダーに登録する**	☞ 70ページ ☞ 72ページ
3	**テレビやレコーダーで、動作を確認する**	☞ 73ページ

テレビやレコーダーを使う（つづき）

ドアホン親機をテレビに登録する

接続が終わったらテレビの電源を入れ、3分以上経過してから下記の登録操作を始めてください。

- ●登録できるテレビは2台まで。
- ●テレビの操作はTH-L32/26/20/17X1の例です。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビの操作

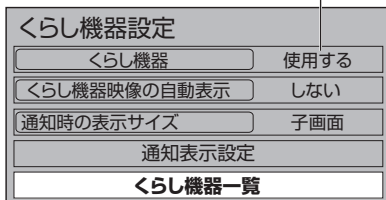
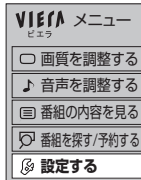
1 テレビのリモコンで **[メニュー]を押して、[▼][▲]で「設定する」を選び、[決定]を押す**

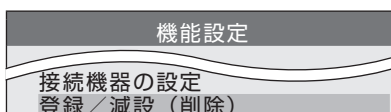
2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「設置設定」を選び、[決定]を3秒以上押す**

4 **[▼][▲]で「くらし機器設定」を選び、[決定]を押す**

5 **[▼][▲]で「くらし機器一覧」を選び、[決定]を押す**

●「くらし機器」の項目が「使用する」のときに操作できます

ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

6 **機能 を押し、 で[登録/減設(削除)]を選ぶ**

ドアホン親機の操作(つづき)

7 **決定 を押し、 で[登録]を選ぶ**

8 **を押し、 で[AV機器]を選ぶ**

9 **決定 を押す**

●登録モードになる

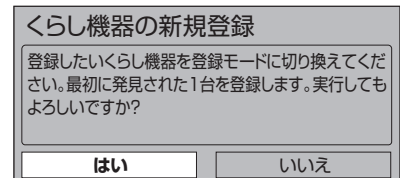
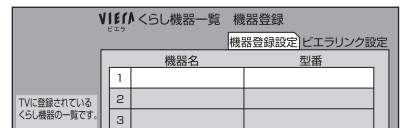
続けて、約5分以内に手順10、11の操作をする

テレビの操作

10 テレビのリモコンで **[緑]ボタンを押す**

VIERA くらし機器一覧 機器登録
機器登録設定 ビエラリンク設定
TVに登録されているくらし機器の一覧です。

	機器名	型番
1		
2		
3		

11 **下記の画面が出たら、[◀][▶]で「はい」を選び、[決定]を押す**

●登録が完了すると、手順10の画面にドアホン親機の情報が表示される

12 終わったら、**[元の画面]を押す**

13 **ドアホン親機の 終了 を押す**

「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見るには

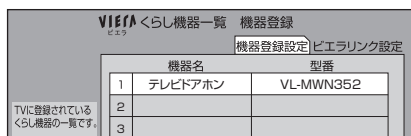
ドアホン親機をテレビに登録後、下記の「ビエラリンク表示設定」を行うと、テレビの「ビエラリンク」メニューから必要なときにドアホンの映像を見ることができます。

- テレビの操作はTH-L32/26/20/17X1の例です。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビの操作

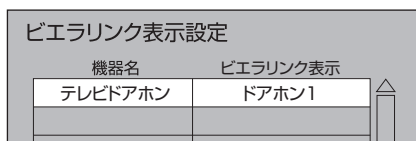
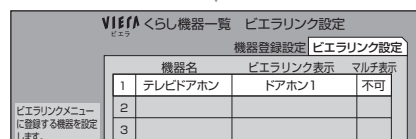
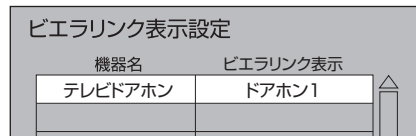
1 **70ページの手順1～5を行い、テレビに「くらし機器一覧」画面を表示させる**

VIErA くらし機器一覧　機器登録
機器登録設定　ビエラリンク設定
TVに登録されているくらし機器の一覧です。

	機器名	型番
1	テレビドアホン	VL-MWN352
2		
3		

2 テレビのリモコンで
[赤]ボタンを押す

- 「ビエラリンク設定」画面になる

3 **[緑]ボタンを押す**

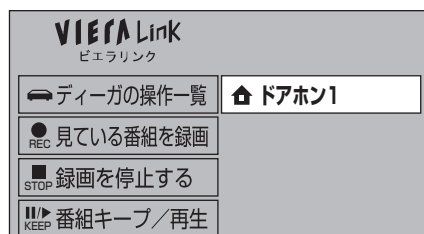
- 設定できる機器の一覧が表示される

4 **[▼][▲]で「ビエラリンク」メニューに表示させたいドアホンを選び、[決定]を押す**

- 選択したドアホンが、「ビエラリンク」メニューに追加される

5 終わったら、**[元の画面]を押す**

お知らせ

- 「ビエラリンク」メニューに設定できる台数やメニューからの削除のしかたは、テレビの取扱説明書をお読みください。

「ビエラリンク」メニューからドアホンの映像を見る

① テレビのリモコンで
[ビエラリンク]を押す

② **[▼][▲][◀][▶]で映像を見たいドアホンを選び、[決定]を押す**

■テレビに表示されるドアホンの映像について

ドアホンの映像は、約1秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）
使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。

ドアホン親機をレコーダーに登録する

接続が終わったらレコーダーとテレビの電源を入れ、入力をレコーダーとの接続に合わせて切り換えておいてください(ビデオ1など)。（登録操作はレコーダーが停止中に行ってください）

- 登録できるレコーダーは１台のみ。
- レコーダーの操作はDMW-BW950/850/750の例です。お使いのレコーダーの取扱説明書もあわせてお読みください。

レコーダーの操作

1 レコーダーのリモコンで
[スタート]を押して、[▼][▲]で「その他の機能へ」を選び、[決定]を押す

2 **[▼][▲]で「初期設定」を選び、[決定]を押す**

3 **[▼][▲]で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定]を押す**

4 **[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、[決定]を押す**

5 **[▼][▲]で「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、[決定]を押す**

ドアホン・センサーカメラの接続設定
ドアホン・センサーカメラ接続　入
ドアホン録画　する　しない
センサーカメラ録画　する　しない
機器一覧　型番
〈新規登録〉

6 **[▼][▲]で「入」を選び、[決定]を押す**

- メッセージを確認したら[戻る]を押す

7 **[▼][▲]で〈新規登録〉を選び、[決定]を押す**

ドアホン親機の操作〈登録モードにする〉

8 **機能 を押し、(ボタン) で[登録/減設(削除)]を選ぶ**

9 **(決定) を押し、(ボタン) で[登録]を選ぶ**

10 **(決定) を押し、(ボタン) で[AV機器]を選ぶ**

11 **(決定) を押す**

- 登録モードになる

続けて、約5分以内に手順12の操作をする

レコーダーの操作

12 レコーダーのリモコンの
[▼][▲]で「する」を選び、[決定]を押す

- 登録が完了すると、「登録が完了しました」と表示され、レコーダーの本体表示窓の“⌂”が点灯する

13 **[戻る]を数回押して、設定を終了する**

14 **ドアホン親機の 終　了 を押す**

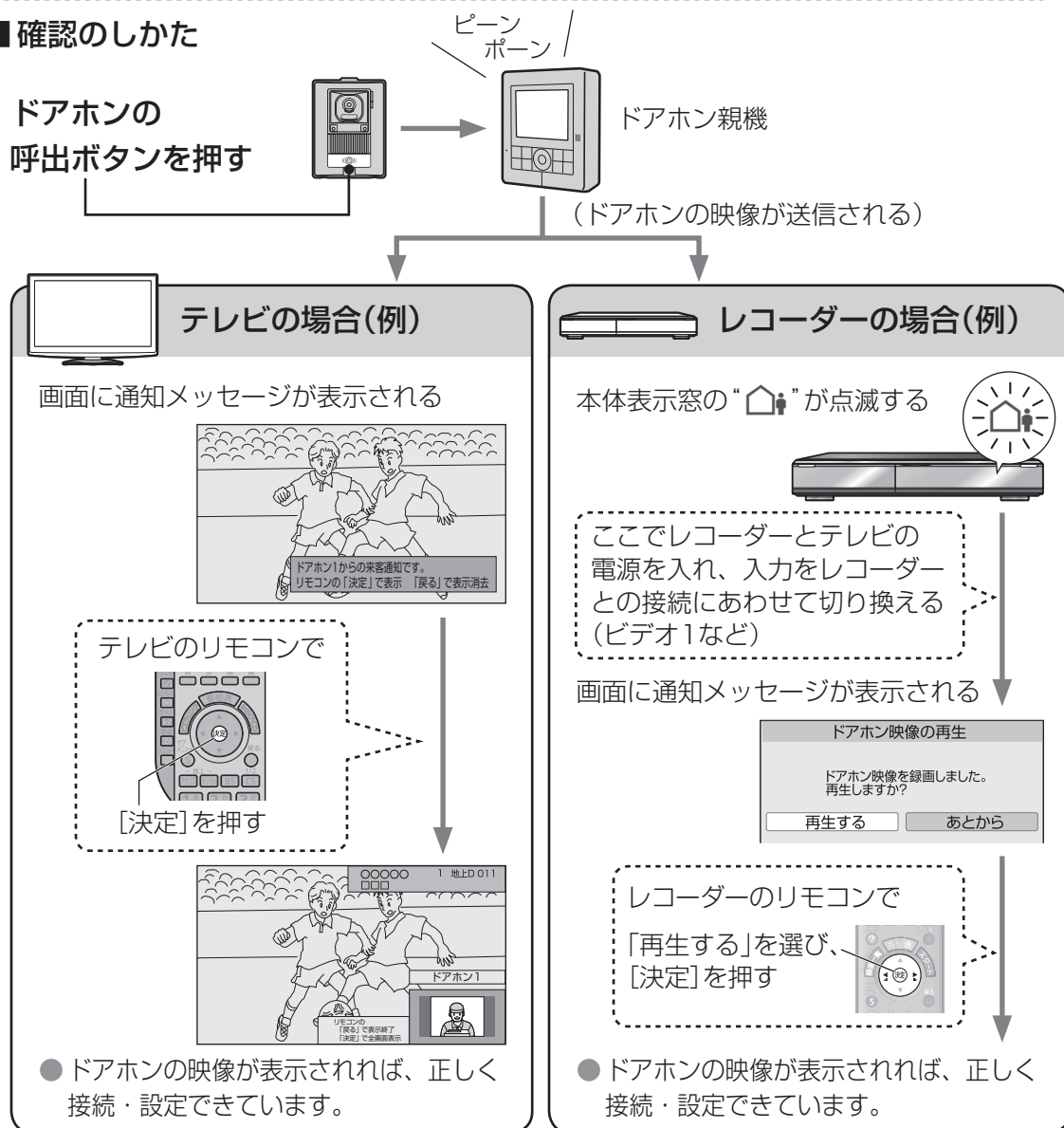
テレビやレコーダーで動作を確認する

登録が終わったら、テレビやレコーダーで下記の準備を行い、正しく動作するか確認してください。

テレビ　：くらし機器を使用する設定にしておく/テレビ放送を表示する
レコーダー：ドアホン録画ができる設定にしておく(本体表示窓の“ ”が点灯する)
● **設定を確認したら、レコーダーの電源は切っておいてください。**

■確認のしかた

● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

● ドアホンの映像が表示されれば、正しく接続・設定できています。

お知らせ

● テレビやレコーダーの表示や操作について詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
● テレビに表示されるドアホンの映像について(☞ 71ページ)
● レコーダーでの録画は最大30秒です。レコーダーのみを登録してご使用の場合、ドアホンの映像は約0.2秒ごとに更新しながら録画されますが、登録されたテレビの台数や使用環境によっては、更新速度が遅くなることがあります。

テレビやレコーダーを使う（つづき）

登録したテレビやレコーダーの情報を見る

テレビやレコーダーのMACアドレスを確認したり、テレビやレコーダーにドアホンからの着信通知ができるかどうかを確認できます。

1 を押し、 で

[接続機器の設定]を選ぶ

機能設定

日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定

2 決定 を押し、 で

[AV機器]を選ぶ

接続機器の設定
2／2ページ
外部機器ボタン
AV機器

3 を押す

AV機器

登録機器一覧

4 決定 を押す

●各機器のMACアドレスと通知状況が表示される

登録機器一覧

種類	MACアドレス	通知
テレビ	XXXXXXXXXXXX	○
テレビ	XXXXXXXXXXXX	×
レコーダー	XXXXXXXXXXXX	○

○：ドアホンから通知できます
×：ドアホンから通知できません

5 終わったら、

終 了 を押す

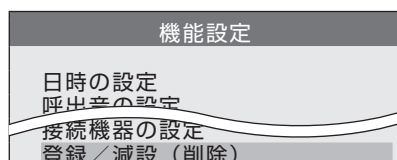
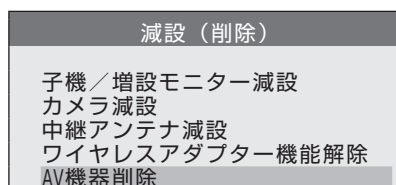
登録したテレビやレコーダーを削除する

次のような場合は、ドアホン親機から不要なテレビやレコーダーの登録を削除してください。
- テレビやレコーダーとの連携(ドアホンからの通知)をやめたいとき
- すでに2台のテレビに登録しているが、別のテレビに登録し直したいとき

1 機能 を押し、◆ で [登録/減設(削除)]を選ぶ

2 決定 を押し、◆ で [減設(削除)]を選ぶ

3 決定 を押し、◆ で [AV機器削除]を選ぶ

減設（削除）
子機／増設モニター減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除
AV機器削除

4 決定 を押し、◆ で削除する機器を選ぶ

（例：レコーダーを削除）

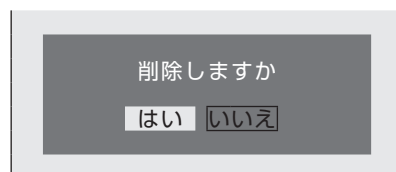
5 決定 を押し、◆ で [はい]を選ぶ

6 決定 を押す

7 終わったら、

終了 を押す

子機を増やす 増 設

VL-W606　VL-W610

別売の子機(☞ 84ページ)を、付属と合わせて6台まで増やせます。
(増設モニターを接続する場合は、5台まで)

● VL-W606はドアホン/電話両用子機です。
- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
- 電話機能を使うには電話/ファクス親機に

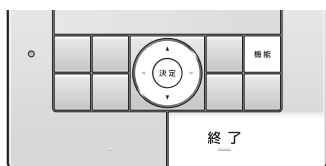
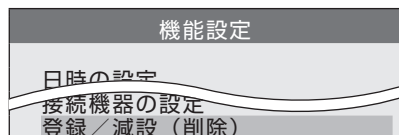
それぞれ登録が必要です※

※電話/ファクス親機への登録(☞「子機編」21ページ)

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

● 子機の操作はVL-W606の例です。お使いの子機の取扱説明書もあわせてお読みください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、 で[登録/減設(削除)]を選ぶ

2 決定 を押し、 で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、 で[子機/増設モニター]を選ぶ

4 決定 を押し、 で増設する子機番号を選ぶ

5 決定 を押す

● 手順4で[子機6(子機/増設モニター)]を選んだ場合は、 で[ワイヤレス子機]を選び、 決定 を押す

続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

6 機能 を押す

● 下記のどちらかを表示

Ⓐ

Ⓑ

■ Ⓐの場合

① 続けて で[ドアホン]を選び、 決定 を押す

■ Ⓑの場合

① 続けて で[子機増設]を選び、 決定 を押す

② で[ドアホン]を選び、 決定 を押す

7 決定 を押す

8 終わったら、

ドアホン親機の 終 了 を押す

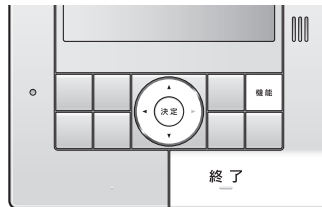
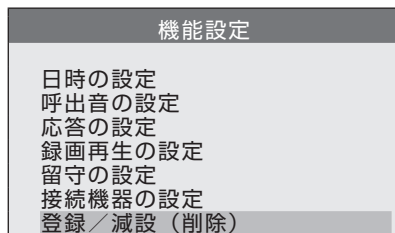
増設モニターを接続して使う（増設）

別売の増設モニター（☞ 84ページ）を増設できます。（1台のみ）

ドアホン親機に登録する

あらかじめ増設モニターをドアホン親機に接続し、電源を入れておいてください。
登録操作はドアホン親機のみで行います。

1 **を押し、◈で [登録/減設(削除)] を選ぶ**

機能設定
日時の設定
呼出音の設定
応答の設定
録画再生の設定
留守の設定
接続機器の設定
登録／減設（削除）

2 （決定）**を押し、◈で [登録] を選ぶ**

3 （決定）**を押し、◈で [子機/増設モニター] を選ぶ**

4 （決定）**を押し、◈で [子機6(子機/増設モニター)] を選ぶ**
- 子機6以外には登録できません

5 （決定）**を押し、◈で [増設モニター] を選ぶ**

6 （決定）**を押し、下記のメッセージ画面を確認して問題なければ◈で [次へ] を選ぶ**

この画面のまま、増設モニターの
接続や電源を確認してください

そのあとで「 次へ 」を
選択してください

次へ　戻る

7 （決定）**を押す**（登録開始）
- 登録が完了すると、下記画面が表示される
（子機6として登録されます）

登録完了
子機6

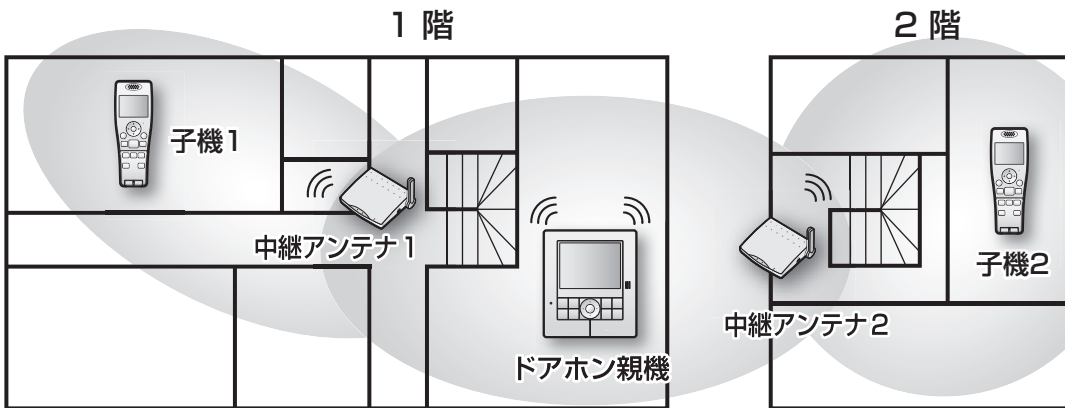
8 終わったら、
[終 了] **を押す**

中継アンテナを設置する 増設

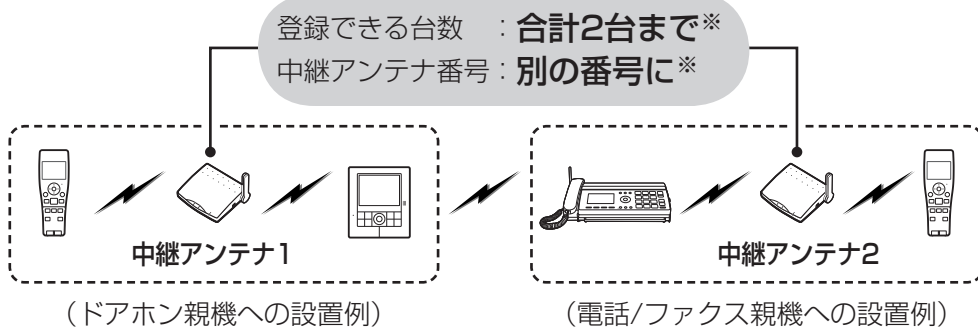
子機を使用するときに、通話の途切れや映像の乱れなどがある場合、別売の中継アンテナ（☞ 84ページ）を設置すると症状を改善できることがあります。

- **設置は最大2台まで。1台につき、子機を1台中継できます。**
- 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。ドアホン親機に登録したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

〈電波のイメージと設置例〉

- ドアホン親機に中継アンテナを2台登録し、1台を子機1用、1台を子機2用に使うとき

■ ドアホン親機と電話/ファクス親機に、それぞれ中継アンテナを登録して使うとき

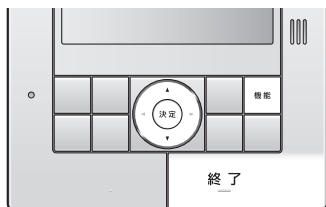
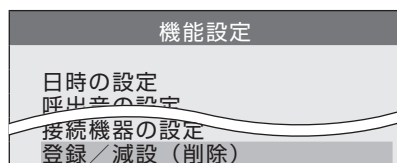
子機（VL-W606）を電話/ファクス親機に登録したり、ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で接続（☞ 56ページ）すると、親機同士を電波で接続します。この場合、下記の設置例のように中継アンテナの登録が制限されます。

（ドアホン親機への設置例）　（電話/ファクス親機への設置例）

※3台以上登録しているときや、同じ番号になっているときは、ドアホン親機の画面表示でお知らせします。（☞ 101ページ）

- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 1台の子機をドアホン/電話両用で使う場合、両方の親機から電波が届きにくい場所に子機を設置すると、中継アンテナが2台必要です。（両方の親機に登録が必要なため）
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。

ドアホン親機の操作

1 機能 を押し、 で [登録/減設(削除)]を選ぶ

2 決定 を押し、 で[登録]を選ぶ

3 決定 を押し、で [中継アンテナ]を選ぶ

4 決定 を押し、で増設する中継アンテナ番号を選ぶ

5 決定 を押し、で中継する機器を選ぶ

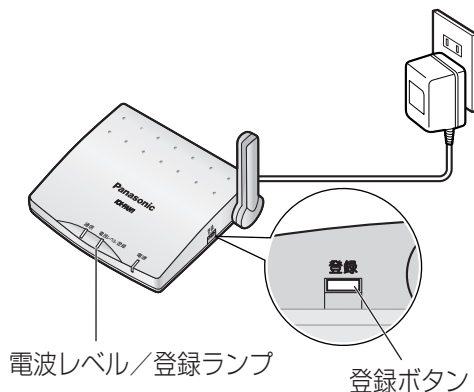
- 中継する機器は、あとで変更できる（☞ 47ページ「中継アンテナ」）

6 決定 を押す

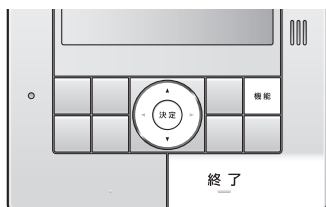
続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

7 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す

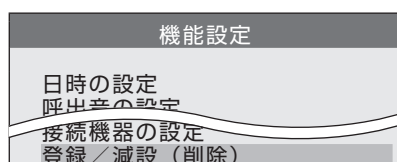
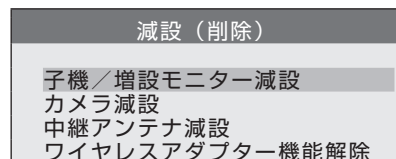
- 電波レベル/登録ランプが緑点滅する
- 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる

8 終わったら、
ドアホン親機の 終 了 を押す

子機・増設モニター・カメラ・中継アンテナを 使わなくなったとき （減設）

ドアホン親機から、それぞれの登録情報を削除（減設）してください。

1 を押し、で［登録/減設（削除）］を選ぶ

2 を押し、で［減設（削除）］を選ぶ

登録／減設（削除）
登録
減設（削除）

3 決定 を押し、で減設する機器の種類を選ぶ

減設（削除）
子機／増設モニター減設
カメラ減設
中継アンテナ減設
ワイヤレスアダプター機能解除

4 決定 を押し、で機器番号を選ぶ

（例：子機2を減設）

子機減設
子機 1
子機 2
子機 3

5 決定 を押す

6 終わったら、終 了 を押す

子機をドアホン/電話両用で使っていたとき

● **電話の子機としての利用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。**
- 減設のしかたは、お使いの電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

● **ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。**

（例）ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき

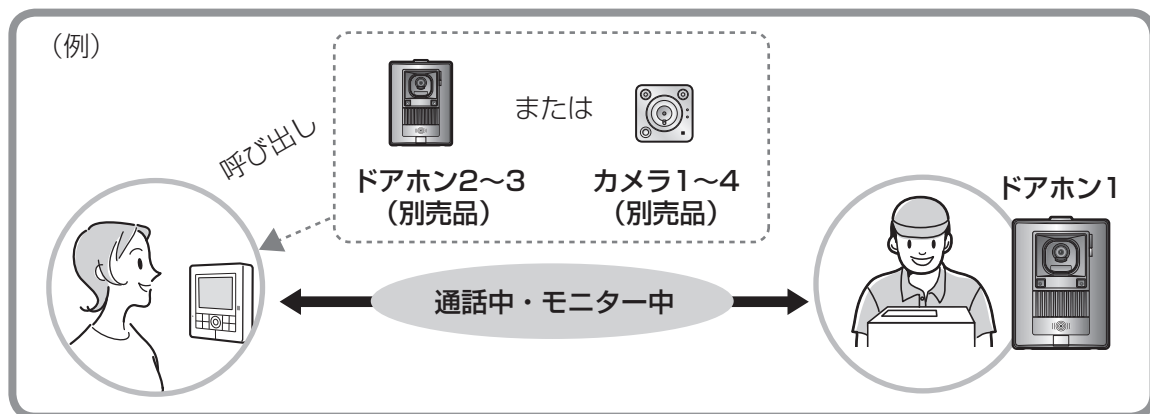
➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更（☞「子機編」55ページ）

「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が圏外となって使えないことがあります。

お願い

● 誤動作防止のため、減設後は下記のことを行ってください。
- 子機の場合 ➔ 電池パックを外す
- 増設モニター・カメラ・中継アンテナの場合 ➔ 電源プラグやACアダプターを抜く

通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき

別の機器からの呼び出しは、通話中･モニター中に呼出音や画面表示などで通知されます。
通話中・モニター中の機器にのみ通知されるので、下記の操作で確認してください。

呼び出してきた機器名(例：カメラ1)

1 通話中・モニター中に、
別のドアホンやカメラから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、［モニター］が点滅する

● 画面には、呼び出してきた機器名を表示

2 呼び出してきたドアホンやカメラの映像を
見るには

［モニター］を押す

● 元の通話やモニターが終了し、映像が
切り替わる

ドアホンの場合

映像とともに周囲の音が聞こえますが、
こちらの声はドアホン側には聞こえません。

● ドアホン側の相手と話すには
［通 話］を押す

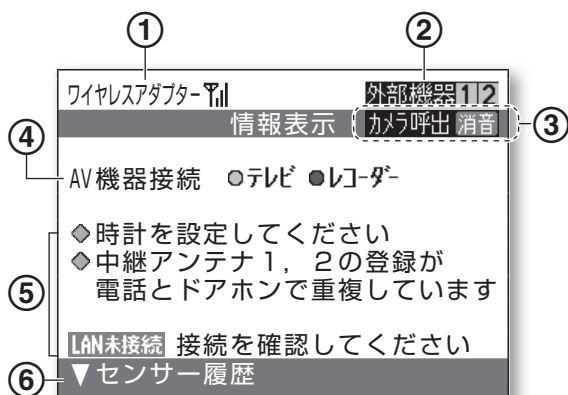
3 終わったら、［終 了］を押す

お知らせ

● ドアホン通話を録音中に別の呼び出しがあったときは、呼出音が鳴りません。
（［モニター］の点滅と画面表示のみでお知らせします）

情報表示画面について

情報表示画面には、本機や本機に接続(登録)した機器などに関する情報が表示されます。

- 情報表示画面は、待ち受け中(待機中)に（決定）を押すと表示されます。
- 状態に応じて表示内容が変化するので、ときどき表示を確認してください。

① ワイヤレスアダプター機能(☞ 56ページ)で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を表示する

- 「圏外」のときは下記のメッセージが表示され、**電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません**

  ◇ワイヤレスアダプターが圏外です
  [▶] で電話／ファクスを探す

  ➔電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、上記画面の状態で（▶）を押してください

- 上記操作後も「圏外」になるときや電波が弱いときは、電波の強い場所へ電話/ファクス親機を設置し直してください
  - 再び「圏外」になったときは、再度上記画面で（▶）を押してください

② 電気錠やエアコンなどの機器を接続し、ドアホン親機に登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する(☞ 54ページ)

外部機器 1 2 ― 機器番号(登録した番号のみ表示)

- **施錠 または ON のとき** 1 ― 緑
- **解錠 または OFF のとき** 1 ― 黒

③ カメラ呼出 消音

カメラ呼出音が鳴らない(消音)設定になっているときに表示する(☞ 44ページ「カメラ呼出消音」設定)

④ テレビやレコーダーを接続してご使用のとき、テレビやレコーダーとの通信状態を表示する

○テレビ ●レコーダー

- ○(点灯)：通信していない状態
- ☼(点滅)：通信中
- ●(消灯)：通信できない状態
  (接続またはテレビ/レコーダーの設定を確かめてください)

⑤ 状態に応じた注意喚起メッセージを表示する(☞ 101ページ)

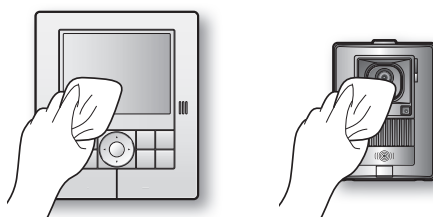
⑥ 火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続してご使用のとき、各機器からの通知履歴(日時)を確認できる(☞ 52ページ)

必要なとき

お手入れ

お手入れするときは、ドアホン親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

お願い

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

必要なとき

仕 様

■ ドアホン親機（モニター親機）

電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.9 W 動作時　　：約8.5 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	190 ×165 × 39 (突起部除く)
質　量	約820 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	5.2型IPS-TFTカラー液晶ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A接点出力※	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
センサー入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メイク時　：500 Ω以下 • ブレイク時：15 kΩ以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下
LANインターフェース	10Base-T/100Base-TX

■ ドアホン（カメラ玄関子機）

電　源	ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	128 × 93 × 36.5 (突起部除く)
質　量	約180 g
使用環境条件	周囲温度：-10 ℃～+50 ℃ 湿度　　：90 % 以下
取付方法	露出型： JIS 1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質	難燃樹脂
最低被写体照度	1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)、赤外線LED

● 子機の仕様は「子機編」の68ページに記載しています。

※ ドアホンからの呼び出し時や、別売のカメラ・火災警報器・外部センサー・地震警報器の反応時に出力

別売品・推奨品一覧

品番および価格は2009年6月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。

（本機に接続できる電話/ファクスは55ページ、カメラは60ページ、テレビ/レコーダーは69ページに記載しています。）

■別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

製品名		品番	希望小売価格（税込）
カメラ玄関子機	露出型	VL-V521L-S ※1	28,350 円
カラーカメラ玄関子機	露出型	VL-V564-K、VL-V565-K	25,200 円
	埋込型	VL-V552-S	44,940 円
音声玄関子機	露出型	VL-V500-K	10,290 円
増設モニター		VL-V650K	52,500 円
ワイヤレスモニター子機（ドアホン/電話両用）		VL-W606 ※2	29,400 円
ワイヤレス子機（音声タイプ、ドアホン専用）		VL-W610	12,600 円
ワイヤレスモニター子機用電池パック		KX-FAN51※3	2,310 円
中継アンテナ		KX-FAN1	12,600 円
JEM-Aアダプタ パナソニック電工（株）配管機材（事）扱い		CZ-TA2	4,463 円
電気錠操作器 パナソニック電工（株）HA・セキュリティ（事）扱い		WQN4503W	52,500 円

※1 付属のドアホン（カメラ玄関子機）と同じ仕様です。
※2 付属の子機と同じ仕様です。
※3 付属の子機用の電池パックです。（お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります）

■推奨品

製品名		品番	
光るチャイム	パナソニック電工（株）製	EC170（P）	
メロディサイン	パナソニック電工（株）製	乾電池式	EC5227W（P）、EC5117WKP、EC5347※4
		AC100 V式	EC710K、EC721K、EC730W※4
回転灯	（株）パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110	
単独型住宅用火災警報器（移報接点付き）	パナソニック電工（株）製	ねつ当番	SH28113、SH28153K、SH38153
		けむり当番	SH28413、SH28453K、SH38453
	能美防災（株）製	熱検知式	FSLJ006-Sシリーズ
		煙検知式	FSKJ216-Sシリーズ
移報接点アダプタ※5	パナソニック電工（株）製	SH2890	
MAMORIE **ワイヤレスセキュリティ受信器**※6	パナソニック電工（株）製	ECD6101K	
緊急地震速報受信装置デジタルなまず	（株）3Softジャパン製	SH200-J	

※4 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。
（オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します）
※5 連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。
接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。
※6 ワイヤレスで、センサーとの配線が不要なセキュリティシステムです。
接続できるセンサー類は、ワイヤレスセキュリティ受信器の説明書をご覧ください。

ライセンスについて

本製品には thttpd-2.25b、NetBSD、Network Kanji Filter で第三者よりライセンスされたソフトウェアが含まれており、下記の条件のもとに使用が許諾されています。

LICENSE ISSUES

This product uses some parts of thttpd-2.25b, NetBSD, Network Kanji Filter.
The use of parts described above are licensed under the conditions below.

<thttpd-2.25b>

<NetBSD>

This product uses a part of NetBSD kernel.
The use of a part of NetBSD kernel is based on the typical BSD style license below.

ライセンスについて（つづき）

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

However, parts of the NetBSD Kernel are provided with the following copyright notices.

Copyright (c) 1980, 1983, 1988, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1980, 1986, 1989, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1980, 1986, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1980, 1986, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1985, 1986, 1988, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1990, 1993, 1994, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1990, 1993, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1988, 1993, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1993, 1994, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1986, 1993, 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1982, 1988, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1983, 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1983, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1985, 1986, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1985, 1986, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1986, 1989, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1986, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1987, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1987, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1987, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1988 Regents of the University of California. All rights reserved
Copyright (c) 1988 Stephen Deering.
Copyright (c) 1988 University of Utah.
Copyright (c) 1988, 1989, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1988, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1988, 1992, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Copyright (c) 1988, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1989, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1989, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1989, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1990, 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1990, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1991, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1991, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1992 Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1992, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1993 Adam Glass
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1994 Gordon W. Ross
Copyright (c) 1994 Winning Strategies, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1995 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (C) 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 John S. Dyson All rights reserved.
Copyright (c) 1996 Matt Thomas. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 Matthew R. Green. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 Paul Kranenburg
Copyright (c) 1996, 1997, 1999, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1996, 2000 Christopher G. Demetriou. All rights reserved.
Copyright (c) 1996,1999 by Internet Software Consortium.
Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.
Copyright (c) 1997 Jonathan Stone and Jason R. Thorpe. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 Christos Zoulas. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 Manuel Bouyer. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 1999, 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997, 1998, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997,98 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (C) 1997-2000 Sony Computer Science Laboratories Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1997-2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com> All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1998, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (C) 1999 WIDE Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000 Jason L. Wright (jason@thought.net) All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2000, 2001, 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

ライセンスについて（つづき）

Copyright (c) 2002 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright 1998 Massachusetts Institute of Technology. All rights reserved.
Copyright 2001 Wasabi Systems, Inc. All rights reserved.
Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.
Portions Copyright (c) 1995 by International Business Machines, Inc.
Copyright (c) 1983, 1989 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 by Internet Software Consortium. All rights reserved.
Copyright (c) 1980, 1986, 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1988 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1992, 1993 The Regents of the University of California. All rights reserved.
Copyright (c) 1994 Christopher G. Demetriou. All rights reserved.
Copyright (c) 1997 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1999 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.
Copyright (c) 1996 Gardner Buchanan <gbuchanan@shl.com> All rights reserved.

Parts of the NetBSD Kernel are provided with the licenses that are slightly different from the above Berkeley-formed license. Please refer the source code of the NetBSD Kernel about the details.
The source code of the NetBSD Kernel is provided by the NetBSD CVS Repositories (http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/), and this product includes parts of the source code in the following directories.
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/kern/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/net/
http://cvsweb.netbsd.org/bsdweb.cgi/src/sys/netinet/

Network Kanji Filter. (PDS Version)

Copyright (C) 1987, Fujitsu LTD. (Itaru ICHIKAWA)
連絡先：（株）富士通研究所　ソフト３研　市川　至
（E-Mail Address: ichikawa@flab.fujitsu.co.jp）
Copyright (C) 1996,1998
Copyright (C) 2002
連絡先： 琉球大学情報工学科 河野 真治　mime/X0208 support
（E-Mail Address: kono@ie.u-ryukyu.ac.jp）
連絡先： COW for DOS & Win16 & Win32 & OS/2
（E-Mail Address: GHG00637@niftyserve.or.jp）

このソースのいかなる複写，改変，修正も許諾します。ただし、その際には、誰が貢献したを示すこの部分を残すこと。
再配布や雑誌の付録などの問い合わせも必要ありません。
営利利用も上記に反しない範囲で許可します。
バイナリの配布の際には version message を保存することを条件とします。
このプログラムについては特に何の保証もしない、悪しからず。

Everyone is permitted to do anything on this program including copying, modifying, improving, as long as you don't try to pretend that you wrote it.
i.e., the above copyright notice has to appear in all copies.
Binary distribution requires original version messages.
You don't have to ask before copying, redistribution or publishing.
THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE.

困ったとき

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
画面表示（ドアホン映像）	被写体が 白黒（または青紫）っぽく 映ったり、 背景が緑っぽく映る	●夜間などドアホンの周囲が暗いときに、ドアホンのLEDライトが消灯していると、色味が落ちるため、被写体が白黒（または青紫）っぽく映ります。 また、外灯などで明るいところや白い壁が緑っぽく映りますが、故障ではありません。 ➔ 夜間など、暗いときはドアホンのLEDライトを点灯させてください。 （別売のドアホンでLEDライトが付いていない場合、この操作はできません。）	21 47
	人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、［機能］（明るさ/音量）で逆光補正をしてください。 （別売のドアホンで逆光補正機能がない場合、この操作はできません。逆光にならない位置に、設置し直してください。）	21
	映像がはっきりしない ・焦点が合わない	●ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか？ ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。 ●ドアホンのレンズカバーが結露していませんか？ ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	83 –
	映像全体が白っぽい、 または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか？ ➔ 映像表示中に、［機能］（明るさ/音量）で明るさを調節してください。	21
	映像が白っぽい、 または 白い線や輪が表示 される	●ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。（故障ではありません） ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	–
	画面全体がちらつく	●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか？ ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと（フリッカー現象）があります。 （故障ではありません）	–
	録画した画像の画質が 粗い	●8枚録画の場合、1枚録画に比べて画質が粗くなります。 ➔ 画質を優先したいときは、ドアホン親機で、「ドアホン録画数」の設定を「1枚」にしてください。	45

困ったとき（つづき）

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像／その他)	録画再生で、録画日時が「--/--(—)--:--」となっている	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付･時刻を設定してください。	19
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	45
	青画面(画像なし)が録画されている	●音声専用のドアホンを接続していませんか？ ➔ 自動録画機能により、呼び出し時に表示される青画面が録画されます。 「ドアホン自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「OFF」にすることをお勧めします。	45
ドアホン通話／室内通話	ドアホンの映像が映っているのに、ドアホン親機で通話や録画などの操作ができない	●電話/ファクスで、すでにドアホン通話やモニターをしていませんか？ ➔ 電話/ファクスでドアホン通話やモニターをしているときは、ドアホン親機にも最大3分間映像が映りますが、通話や録画などの操作はできません。	−
	通話が途切れる または、ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	21
		●子機との通話の場合 • 子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。 アンテナ部	−
		• 子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	12 78
		• 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	13

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
ドアホン通話／室内通話	雑音(ハウリング)が聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声がまったく聞こえない(こちらには相手の音声が聞こえる)	●プレストーク通話になっていませんか？（ を表示） ➔ プレストーク通話では、通 話を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	21
	音声応答がうまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	20
モニター(ドアホン・カメラ)	指定したモニター先につながらず、「着信中の○○○を表示します」と出て、別の機器の映像が表示される	●「鳴り分け」の設定(☞ 43ページ)で、「鳴らない」に設定した機器から着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、モニター を押してください。	23 63
	カメラモニターで映像が表示されない	●カメラがかくれンズ設定中または登録モード中になっていませんか？ ➔ カメラの機種によっては、上記の場合に映像が表示されません。(詳細は☞ カメラの説明書)カメラ側でかくれンズ設定を解除、または通常モードに戻ったことを確認してから、モニター操作(☞ 63ページ)をやり直してください。	–
呼出音	ドアホンや別売のカメラからの呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「鳴り分け」設定を確認してください。 ●カメラの場合、ドアホン親機の「カメラ呼出消音」設定をしていませんか？ ➔ ドアホン親機で、「カメラ呼出消音」設定を確認してください。	41 43 44

困ったとき（つづき）

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
ドアホンの留守設定	留守設定したのに • 用件が録音されない • 相手に応答メッセージが流れない	● お買い上げ時の設定では、留守設定時に録画のみを行い、応答メッセージも流れません。 ➔ 用件を録音するには、留守設定時に設定を変更してください。	26
		● 録音は最大25件です。未再生の留守録画と保護設定した画像のうち、音声付き画像が合計25件あると、それ以上は録音されません。 （応答メッセージも流れません） ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生すると、録音できるようになります。	26
	留守解除できない（留守ランプの点滅が消えない）	● 未再生の留守録画をすべて再生するまで、留守解除されません。 ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
	留守ランプが通常より速く点滅している	● 録音がいっぱい(25件)で、これ以上録音できません。録画はできます。 ➔ [留守] を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
電話／ファクスでのドアホン通話	ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで • ドアホンの呼出音が鳴らない • ドアホン通話が途切れる	● ワイヤレスアダプターの設定(増設)は完了していますか？ ➔ 設定を完了してください。	56
		● ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。 別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。	57 82
		● 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	13
		● 上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機のリセットスイッチを先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画した画像、登録した設定内容、応答メッセージなどは消えません）	16
		● ドアホンを３台ご使用の場合で、3台目(ドアホン3)からの呼出音が鳴らないとき • 電話/ファクスでは、3台目(ドアホン3)からの呼び出しは受けられません。	–

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
火災警報器／外部センサー／地震警報器との連動	接続機器が反応しているのに、ドアホン親機や子機に通知されない ・通知音が鳴らない ・通知画面が出ない	●配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	–
	外部センサー（MAMORIE）が反応しているのに、ドアホン親機や子機の通知音が鳴らない、または鳴るのが遅い	●ドアホン親機や子機の通知音は、MAMORIEの設定によって、鳴り出すタイミングが異なります。 ➔ 詳しくはMAMORIEの説明書をお読みください。	–
	地震警報器（デジタルなまず）が反応しているのに、ドアホン親機や子機では、通知音や通知画面がすぐに（約5秒間で）終了してしまう	●デジタルなまず（SH200-J）の外部接続端子は2ポートあり、接続するポートによってドアホン親機と子機への通知時間が変わります。 ➔ 詳しくはデジタルなまずの説明書をお読みください。	–
電気錠などの操作	電気錠などの機器を施錠（またはON）しても外部機器ランプが点灯しない	●電気錠などの機器を、外部機器ボタンに2台登録していませんか？ ➔ 外部機器ランプは、登録された機器が1台の場合のみ、施錠（またはON）中に点灯します。	54

困ったとき（つづき）

<table>
<tr><th colspan="2">こんなとき（症状など）</th><th>原因と対応</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="12">カメラ／テレビ／レコーダーとの接続（通信）について</td><td rowspan="12">カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない</td><td>●ドアホン親機に、各機器が登録されていますか？
➔ 登録しないと通信できません。各機器を登録してください。</td><td>61
70~73</td></tr>
<tr><td>●ドアホン親機と各機器間のLANケーブルが、正しく接続されていますか？
➔ 各機器の説明書も参照のうえ、正しく接続されているか確認してください。</td><td>59</td></tr>
<tr><td>➔ テレビやレコーダーとの通信ができない場合はテレビやレコーダー側で、ドアホン親機とのネットワーク接続や設定も確認してください。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>●ハブをご使用の場合、ハブのLinkランプが消灯していませんか？
➔ 電源や接続を確認してください。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>●ルーターをご使用の場合は次のことを確認してください。
• ルーターの電源が入っていますか？
➔ ルーターの電源を入れてください。ルーターのDHCP機能により、各機器のIPアドレスが自動的に割り当てられると、ドアホン親機と通信ができるようになります（IPアドレスの取得には、3分程度かかる場合があります）。ルーターの電源は常に入れた状態にしておいてください。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>• ルーターを再起動したり電源を入れ直すと、各機器との通信ができなくなることがあります。
➔ ルーターの電源が入っていることを確認し、ドアホン親機のリセットスイッチ（☞ 16ページ）を先端の細いもので押して再起動してください。
（ドアホン親機に録画した画像、登録した内容、応答メッセージなどは消えません）
次に、カメラ、テレビ、レコーダーの電源を入れ直してください。</td><td>－</td></tr>
<tr><td>〈上記の確認後もカメラとの通信ができないとき〉
●カメラの設定画面やカメラ本体の初期化ボタンで、カメラをお買い上げ時の状態に戻していませんか？
➔ ドアホン親機で、カメラを登録し直してください。</td><td>61</td></tr>
</table>

カメラのセンサー反応について

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラモニターはできるが、センサー反応時の通知がこない	●カメラの「センサー選択」設定が、「OFF(センサー反応しない)」になっていませんか? ➔「OFF」以外に変えてください。 ●ドアホン親機の「鳴り分け」設定で、カメラからの着信を「鳴らない」に設定していませんか? ➔「鳴り分け」設定を確認してください。 ●カメラをテレビやレコーダーと連携させていて、テレビやレコーダーの操作で、カメラに登録していたドアホン親機を削除していませんか? ➔誤って削除したときは、いったんドアホン親機からカメラの登録を削除し、再度カメラをドアホン親機に登録し直してください。	66 43 80 61
車が通るたびにセンサーが反応する	●撮影範囲に車や車のヘッドライトが映ると、動作を検知して反応します。また、車のマフラーやボンネットは温度が高いため、5 m以上離れていても、人感(熱)センサーが温度変化を検知すると反応します。 ➔できるだけ、カメラを車道に向けないように設置するか、角度を調節してください。 ➔動作検知の場合、カメラによってはドアホン親機で「動作検知範囲」設定ができる機種もあります。その場合は、車や車のヘッドライトが映る範囲を検知しないよう設定を変更してください。 ➔人感(熱)センサーの場合、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、検知範囲の調整ができます。(詳細は☞カメラの説明書)	– 67 –
正面方向から近づいてくる人を検知できない	●カメラのセンサーは、横からの動きは検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなっています。 ➔できるだけ、カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。 ➔正面方向から近づいてくる人を検知して映したいときは市販の外部人感センサーをご使用ください。(詳細は☞カメラの説明書)	– –
人が通っていないのに人感(熱)センサーが反応する	●換気扇やエアコンの室外機、給湯器などから吹き出る風や、風で動くような植木や洗濯物などがあると、人が通っていなくても反応することがあります。 ➔カメラの設置場所を変えるか、カメラに付属の「センサー範囲調整キャップ」を使って、人感(熱)センサーの検知範囲を調整してください。(詳細は☞カメラの説明書)	–

困ったとき（つづき）

カメラのセンサー反応について

こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
センサーが反応しない • 人感（熱）センサーや動作検知がはたらかない	●センサー検知後、約60秒間は検知を行いません。（秒数は、カメラの機種や設定によって変わることがあります） ●カメラの「センサー選択」設定が、「OFF（反応しない）」または「外部入力」になっていませんか？ ➔「人感(熱)＋動作検知」に変えてください。 ●カメラが登録モードになっていませんか？ ➔登録モード中(約５分間)は、センサー検知を行いません。カメラによっては、カメラの電源投入時や再起動時に登録モードになる機種があります。登録モードにならないようにするには、ドアホン親機で、カメラの「電源投入時の登録モード」設定を、「しない」にしてください。 ●カメラにかくれンズ機能がある場合、かくれンズ設定中になっていませんか？ ➔かくれンズ設定中はセンサー検知を行いません。カメラ側で設定を解除してください。（詳細は☞カメラの説明書）	 66 68 –
人感（熱）センサーが誤動作する	●カメラを下記のような場所に設置すると、誤動作することがあります。 • 直射日光のあたるところ • 冷暖房室外機の近くなど、温度変化の激しいところ • 油汚れがついたり、蒸気がかかるところ • 携帯電話など強い電波を発する製品の近く • 外灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ • 検知範囲に洗濯物、カーテン、植木、車などの動くものがあるところ • 検知範囲内に、交通量の多い道路があるところ ●犬、猫など、小動物に対しても反応することがあります。 ●冬場など、気温が低いと検知距離（5 m）が長くなり、検知しすぎることがあります。 ➔ドアホン親機で、カメラの「人感（熱）センサー感度」設定を、より低い感度に変更してください。 ●センサー検知範囲に雨や雪が入ると反応することがあります。	– – 66 –
人感（熱）センサーが反応しない	●人感（熱）センサーは、暗くなると動作するようになっていますので、明るい環境では反応しません。 ●下記の場合は、反応しないことがあります。 • 前方にガラスなど、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるとき • 人感（熱）センサーに雪が付いたとき • 正面方向から人が近づいてきたとき（☞95ページ「正面方向から近づいてくる人を検知できない」） ●夏場など、気温が高いときは検知しにくくなります。また冬場など、厚手の服を着ていると検知しにくくなります。 ➔ドアホン親機で、カメラの「人感（熱）センサー感度」設定を、より高い感度に変更してください。	– – 66

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
カメラのセンサー反応について	人感（熱）センサーが反応しにくくなった	●人感（熱）センサーの表面が汚れていませんか？ ➔ 表面を柔らかい乾いた布でふいてください。	–
	動作検知が反応しない	●被写体の動きが小さい場合には、検知しないことがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を、より高い感度に変更してください。	66
		〈ライト付きのカメラの場合〉 ●カメラのLEDライトが点灯したときは、誤検知防止のため、最大2秒間は動作検知しません。	–
	動作検知が誤動作する	●動作検知範囲に洗濯物、カーテン、植木など、風で動くものや、車などの交通量の多い道路があると、誤動作することがあります。また、犬や猫などの小動物にも反応することがあります。 ➔ ドアホン親機で、カメラの「動作検知感度」設定を変更してください。カメラによっては「動作検知範囲」設定で検知範囲を調整できる機種もあります。その場合は設定を変更してください。	66 67
		●雪や雨が降っていると、反応することがあります。	–
カメラの映像表示について／録画について	映像が適切な明るさにならない	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化しています。 ➔ 約１秒ほどお待ちください。自動で補正されます。	–
	被写体がぶれる	●動きのある被写体を映すとぶれることがあります。（故障ではありません）	–
		●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、シャッタースピードが遅くなり、被写体がぶれやすくなります。 ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません）	–
	映像に白点または色のついた光の点が表示される	●カメラを暗い場所で使用したり、暗い被写体を撮影しているときは、画面全体に白点または色のついた光の点が生じることがあります。（故障ではありません） ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。 （ライト付きのカメラの場合も、照明としての十分な光量はありません）	–
	映像表示や録画が中断された	●カメラの機種によっては、撮影中に登録モードやかくれンズ設定になると、画像送信を終了します。このため、映像表示や録画が中断することがあります。（詳細は☞カメラの説明書）	–

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
その他	・画面に「展示モード」と表示されている ・呼出音が定期的に鳴る ・通話ができない	●ドアホン親機の機能設定で「展示モード」が設定されています。 ➔ 機能設定の「その他の設定」から「モード切替」を選び、「展示モード」の設定を「しない」にしてください。 （設定のしかたは☞ 48、49ページ下）	49
	停電のとき使えますか？	●使えません。ドアホン親機は、日付・時刻が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、ドアホン親機の日付・時刻を設定してください。	19
	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	●直らないときは、ドアホン親機の底面にあるリセットスイッチを先端の細いもので押してください。 （録画した画像、登録した設定内容、応答メッセージなどは消えません）	16
	ドアホン親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。 それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●電源直結工事をして、ご使用のとき ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	― ―
	待ち受け中（待機中）なのに、ドアホン親機が操作できない （「ピピピッ」と鳴り、操作を受け付けない）	●別売の増設モニターをご使用の場合、増設モニター側が次の状態ではありませんか？ ・カメラ着信中 （ドアホン親機はカメラ着信を受けない設定） ・カメラモニター中 ・録画した画像の再生中 ➔ 上記の場合、ドアホン親機側での操作はできません。増設モニター側の操作が終わってから、やり直してください。	―
	下記のあと、通信にノイズが入るようになった ・ドアホン/電話両用で使っていた子機をドアホン親機または電話/ファクス親機のどちらかで減設した ・ワイヤレスアダプターの設定を解除（減設）した	●ドアホン親機と電話/ファクス親機の距離が近すぎませんか？ ➔ どちらも電波を使う機器のため、子機経由またはワイヤレスアダプター機能で接続した親機同士の接続を解除すると、お互いの電波が干渉することがあります。親機同士を3 m以上離してください。	―

こんな表示が出たら

表示	原因と対応	ページ
未再生の録音がいっぱいです 画像のみ録画しました	●録音がいっぱい(25件)で、これ以上録音できません。 ➔ 録音できるようにするには、[留守]を押して、未再生の留守録画を再生してください。	26
保護画像です 保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	32
保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	●保護画像がいっぱい(20件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護設定してください。 ※ 保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	32
留守の未再生画像があるため 初期化できません 再生してから初期化してください	●未再生の留守録画があると初期化できません。 ➔ [留守]を押して、未再生の留守録画を再生してから、初期化をやり直してください。	26 48
不要なデータを消去中のため 無効です	●ドアホン親機内の録音データを整理中です。 ➔ しばらく待ってから、操作をやり直してください。	—
登録できません	●カメラ/子機/増設モニター/中継アンテナを登録時、またはワイヤレスアダプター機能で電話/ファクスを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。 ➔ カメラ登録の場合、ドアホン親機の操作途中でカメラを登録モード※にします。登録モード(カメラの機器インジケーターなどがオレンジ点滅)になったことを確認してから、約5分以内にドアホン親機の残りの操作をしてください。 ※登録モードにする方法はカメラによって異なります。(☞ カメラの説明書)	56 61 76 77 79
登録できるAV機器が 見つかりませんでした	●テレビやレコーダーを登録時、指定時間内に登録操作が完了していません。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。	70 72

こんな表示が出たら（つづき）

表示	原因と対応	ページ
接続できませんでした LANケーブルの接続を 確認してください	●LANケーブルが接続されていません。 ➔ LANケーブルの接続を確認してください。 ●カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器（ブロードバンドルーターなど）の電源が入っていません。 ➔ カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器の電源を入れてください。	59 –
カメラ番号（1～4） カメラ1に 接続できません 接続できません	●ドアホン親機とカメラ間が正しく接続されていない、またはハブやルーターをご使用の場合に、それらの機器の電源が入っていないなどの可能性があります。 ➔ 94ページの「カメラ/テレビ/レコーダーと通信できない」の項目を参照のうえ、接続や電源を確認してください。	–
通信できません	●カメラとの通信で、次のことが考えられます。カメラ側の状態を確認してください。 • カメラの電源が切れている ➔ カメラの電源を入れてください。 • カメラ側にない機能を設定しようとした（☞ 66～68ページ） • カメラにかくれンズ機能があり、かくれンズ設定中になっている ➔ カメラ側で設定を解除してください。（詳細は☞ カメラの説明書）	–
■通話やモニター終了時に下記の表示が出る 火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました 地震速報を受信しました	●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していないか、確認してください。 ●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	52 –

● 以下は、情報表示画面（☞ 82ページ）、ネットワーク情報画面（☞ 48ページ）、カメラ詳細情報画面（☞ 68ページ）を表示させたときに、機器の状況に応じて表示される内容です。

表　示	原 因 と 対 応	ページ
LAN未接続　接続を確認してください （情報表示画面/ネットワーク情報画面/カメラ詳細情報画面）	● LANケーブルが接続されていません。 ➔ LANケーブルの接続を確認してください。 ● カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器（ブロードバンドルーターなど）の電源が入っていません。 ➔ カメラ/テレビ/レコーダーまたはネットワーク機器の電源を入れてください。	59 –
IP重複　設定を確認してください （情報表示画面/ネットワーク情報画面）	● ドアホン親機と同じIPアドレスが、ほかのネットワーク機器にも使われています。 ➔ ドアホン親機のIPアドレスを確認し、※ほかのネットワーク機器とIPアドレスが重複しないように、再設定してください。 ※ ドアホン親機のIPアドレスを確認するには（☞ 48ページ「ネットワーク情報」）	–
◇時計を設定してください （情報表示画面）	● 日付・時刻が設定されていません。 ➔ 日付・時刻を設定してください。	19
中継アンテナ番号（1～2） ◇中継アンテナ 1 の登録が電話とドアホンで重複しています （情報表示画面）	● ドアホン親機に登録している中継アンテナ（1または2）が、電話/ファクス親機にも同じ番号で登録されています。 ➔ どちらかの中継アンテナを減設し、別の番号で登録し直してください。	78 80
◇中継アンテナ 1，2 の登録が電話とドアホンで重複しています （情報表示画面）	● ドアホン親機に登録している2台の中継アンテナが、電話/ファクス親機にも同じ番号で登録され、ドアホン親機と電話/ファクス親機で合計3台以上登録されています。 ➔ 中継アンテナは、合計2台までしか登録できません。 合計2台以下になるよう、どちらかの中継アンテナを減設してください。	78 80

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■ 補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このワイヤレスモニター付テレビドアホンの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

本書の89～101ページ、「子機編」の69～77ページに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグとACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は、**保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン
品　番	VL-SWN352KL
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、録画、録音、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

拠点	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

拠点	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

拠点	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

拠点	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

拠点	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

拠点	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

拠点	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

拠点	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

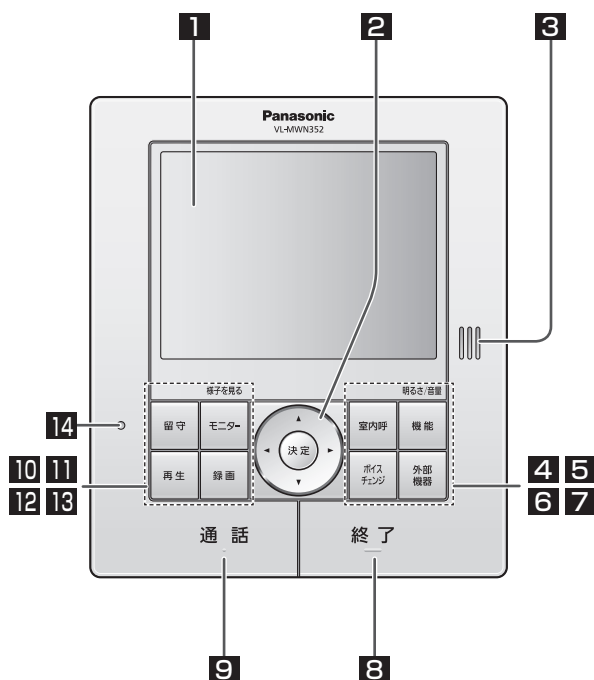
拠点	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VL-MWN352KL

1 Display

2 Navigator button

Set button

3 Speaker

4 室内呼 Intercom button

5 明るさ/音量 機能 Function/Brightness/Volume button

6 ボイスチェンジ Voice change button & indicator

7 外部機器 External button & indicator (To lock/unlock the door, and etc.)

8 OFF button

9 Talk button/Conversation indicator

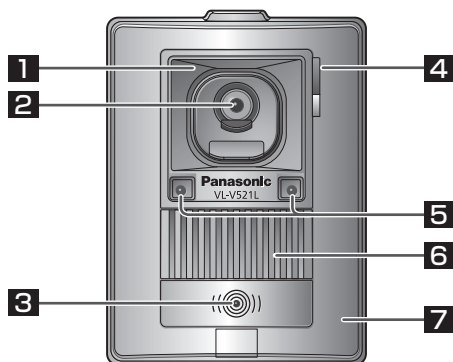
10 留守 Auto Answer button & indicator

11 モニター Monitor button & indicator

12 再生 Playback button & indicator

13 録画 REC button

14 Microphone

VL-V521L

1 Lens cover

2 Camera lens

3 Call button & indicator

4 Microphone

5 LED lights

6 Speaker

7 Panel

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press 通 話 (9).

■ To monitor outside images

Press モニター (11). (To talk to the visitor, press 通 話 .)

● An optional camera or more than one optional doorphone is connected

After press モニター, select a desired doorphone using (2) and press 決定 (2).

■ To monitor camera images

After press モニター, select a desired camera using and press 決定 .

■ To answer a call from a camera

When the ringer tone is heard and the display turns ON, press モニター .

■ To record the displayed image

Press 録画 (13) while the image is displayed.

■ To set up the Auto answer system

When you leave home, press 留守 (10) to turn ON the indicator.

● To record visitors' messages

After press 留守 , press 機能 (5). ➔ Select［あり（固定） 画像と音声］using , then press 決定 .

■ To cancel the Auto answer system

When you return home, press 留守 .

- When there are no new recorded images, the Auto answer system is canceled and the Auto answer indicator turns OFF.
- When there are new recorded images, the Auto answer indicator flashes.
  ➔ The recorded images are automatically played back.
  (When all new recorded images are played back, the Auto answer system is canceled).

■ To play back new images when the Auto answer system is deactivate and the Playback indicator flashes.

Press 再生 (12). ➔ Press 決定 . ➔ Play back the image using .

● When an optional camera is connected, and both the doorphone and camera have new images

Press 再生 , Select a desired item using . ➔ Press 決定 . ➔ After press 決定 , play back the image using .

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

さくいん

A～Z 行

A 接点出力 47, 53
JEM-A アダプタ 51, 84
JEM-A 対応機器 51
LED ライト 18
PC モード 49
QR コード 8, 35, 38
Quick Reference Guide 104, 105

あ 行

明るさ設定（ドアホン） 21
明るさ設定（カメラ） 67
位置表示ランプ 18
移報接点アダプタ 51, 84
液晶ディスプレイ（モニター画面） 16, 17
お客様ご相談センター 102
お手入れ 83
音声応答 20, 44
音量（音の大きさ）を変える 21, 41

か 行

回転灯 50, 53, 84
外部機器 54
外部センサー 51, 52
火災警報器 51, 52, 84
画像
- 自動更新 29
- 再生 26, 30, 31
- 保護／保護解除 32
- 消去 32

画像全消去 48
カメラアドレス 68
カメラ検知履歴 68
カメラ再起動 68
カメラ詳細情報 68
カメラ調整モード 67
カメラ登録モード入 68
カメラモニター 63
カメラ呼出消音 44
カメラレンズ 18
機能設定一覧表
- ドアホン親機 .... 44 ～ 49
- カメラ（別売品） .... 66 ～ 68

逆光補正（ドアホン） 21
逆光補正（カメラ） 67

か 行

減設（削除）
- 子機／増設モニター／カメラ／中継アンテナ 80
- テレビ／レコーダー 75
- ワイヤレスアダプター機能 58

子機増設 76
子機減設 80
子機の名前 47

さ 行

再起動（ドアホン親機） 16
再生
- 画像の再生 30
- 再生画面の見かたと再生中の機能 31

再生音量 31
再生ランプ点滅 45
自作応答消去 46
自作応答録音 28, 46
地震警報器 51, 52, 84
室内通話（ドアホン室内通話） 33
室内呼 22, 33
自動録画 24, 64
修理ご相談窓口 102, 103
手動録画 25, 65
受話音量 21
仕様 83
消去（画像） 32
情報表示画面 82
照明（ドアホン） 21, 47
照明（カメラ） 68
人感（熱）センサー感度（カメラ） 66
スピーカー
（ドアホン親機／ドアホン） 16, 18
設定と登録のリセット（カメラ） 68
設定の初期化（ドアホン親機） 48
センサーカメラ 51, 60
センサー選択（カメラ） 66
センサー入力 47
操作ガイド 17
操作ガイド表示 49
増設
- 子機 76
- 増設モニター 77
- 中継アンテナ 78, 79
- カメラ 61

さ 行

増設モニター............................ 50, 77, 84
相談窓口..................................... 102, 103

た 行

ただいまコール.. 18
中継アンテナ........................ 78 ～ 80, 84
通話転送（ドアホン通話）.......................... 22
通話ランプ.. 16
テレビ......... 51, 59, 69 ～ 71, 73 ～ 75
電気錠... 51, 54
電気錠操作器.................................. 51, 84
電源投入時の登録モード（カメラ）.......... 68
展示モード.. 49
電池パック（子機）.................................. 84
電波状態表示... 82
電話機接続.................................... 55 ～ 58
ドアホン（カメラ玄関子機）..................... 18
ドアホン親機（モニター親機）................. 16
ドアホン室内通話................................... 33
ドアホン自動録画................................... 45
ドアホン照明自動点灯............................ 47
ドアホン接続... 46
ドアホンの名前...................................... 46
ドアホンモニター................................... 23
ドアホン録画数...................................... 45
動作検知感度（カメラ）........................... 66
動作検知範囲（カメラ）........................... 67
登録（増設）
- 子機.. 76
- 増設モニター...................................... 77
- 中継アンテナ............................. 78, 79
- カメラ.. 61
- テレビ.. 70
- レコーダー.. 72

な 行

鳴り分け... 43, 44
日時設定.. 19
ネットワーク情報................................... 48

は 行

光るチャイム............................ 50, 53, 84
日付・時刻を合わせる............................ 19
ファクス接続................................. 55 ～ 58
プレストーク通話................................... 21
別売品・推奨品一覧............................... 84
ボイスチェンジ................................ 21, 44
保護／保護解除...................................... 32
保証とアフターサービス...................... 102

ま 行

マイク（ドアホン親機／ドアホン）....... 16, 18
マルチファンクションキー...................... 17
みえますねっと Lite................ 34, 48, 68
みえますねっと Lite 解除............... 36, 39
みえますねっと Lite 情報表示........ 37, 40
みえますねっと Lite 設定............... 36, 39
みえますねっと Lite 登録............... 35, 38
水抜き穴.. 18
メロディサイン......................... 50, 53, 84
モード切替.. 49
モニター（様子を見る）...................... 23, 63
モニター画面（液晶ディスプレイ）.... 16, 17

や 行

呼出音（種類を変える）...................... 42, 44
呼出音量.. 41, 44

ら 行

リセットスイッチ................................... 16
留守応答音量... 46
留守設定／解除...................................... 26
レコーダー............ 51, 59, 69, 72 ～ 75
レンズカバー... 18
録画・録音
- 自動録画..................................... 24, 64
- 手動録画..................................... 25, 65
- 留守設定して録画・録音する... 26, 27
- 録画・録音の自動更新....................... 29
録画開始時間... 45
録画件数振り分け................................... 46
録画日時.. 31
録画日時表示... 45
録画番号.. 31

わ 行

ワイヤレスアダプター機能........... 55 ～ 58
ワイヤレスセキュリティ受信器
（MAMORIE)................................ 51, 84

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■別売品は84ページをご覧ください。

愛情点検　**長年ご使用のワイヤレスモニター付テレビドアホンの点検を！**

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコード、AC アダプターが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグとAC アダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話(　　　)　　　ー

- BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載の会社名･ロゴ･製品名･ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
コミュニケーションネットワークカンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島４丁目１番62号

PNQX1842ZA　SV0209KM0

Panasonic®　ワイヤレスモニター付テレビドアホン　VL-SWN352KL　取扱説明書（ドアホン親機編）